HITACHI
Inspire the Next

Prius
Fモデル

パソコンQ&A 1

サービス&サポート 2

困った時のQ&A

マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

FLORA

このマニュアルの使い方

このマニュアルでは、トラブルを防ぐ方法や、困ったことが起こったときの解決策とヒントを説明します。
本書では の部分について説明します。

パソコンの最新情報や困った時の対策情報

パソコンに関する最新情報やドライバーのダウンロード情報、困ったことが発生した場合の対策方法などをホームページに掲載しています。ご参照ください。

最新情報について
URL: http://prius.hitachi.co.jp/

マニュアルの表記について

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。
CD/DVDドライブ	CD-R/RWドライブ、DVD-ROMドライブ、DVD-ROM&CD-R/RWマルチドライブ、DVDマルチドライブをまとめて表記します。
HDD	ハードディスクドライブを表記します。
FDD	フロッピーディスクドライブを表記します。
FD	フロッピーディスクを表記します。
Windows, Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Editionを表記します。

マニュアルで使用している画面およびイラストは、一例です。機種によっては、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンなどを省略している場合があります。

URL、メールアドレス、画面などは、マニュアル制作時点のものです。

パソコン使用中に、困ったことが起こったら

あれ、おかしいなと思ったら

パソコンを使っていて困ったことが起こった場合は、ここを読んで、該当するマニュアルをご参照ください。

どうしても解決しないときは

1章 パソコンQ&A

パソコン全般、Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition(以下、Windows XPまたはWindows)、アプリケーション、インターネット、メールに関するQ&A集です。困ったことが起こったら、お読みください。

ほかのマニュアルやWindowsのヘルプなど

2章 サービス&サポート

トラブルの内容に応じたお問い合わせ先の一覧です。適切なお問い合わせ先にご連絡いただくと問題を解決しやすくなります。

【安心コールセンタ】

Priusの使い方がわからないので教えてほしい、動作がおかしいので相談したい、修理を依頼したいといった場合はお電話ください。専門のテクニカルエンジニアがお客様の疑問を解決いたします。

・受付時間: 10:00〜22:00(平日、土日、祝日)
・電　話: 0120-8855-96(フリーコール)
03-3298-6750(一般回線)

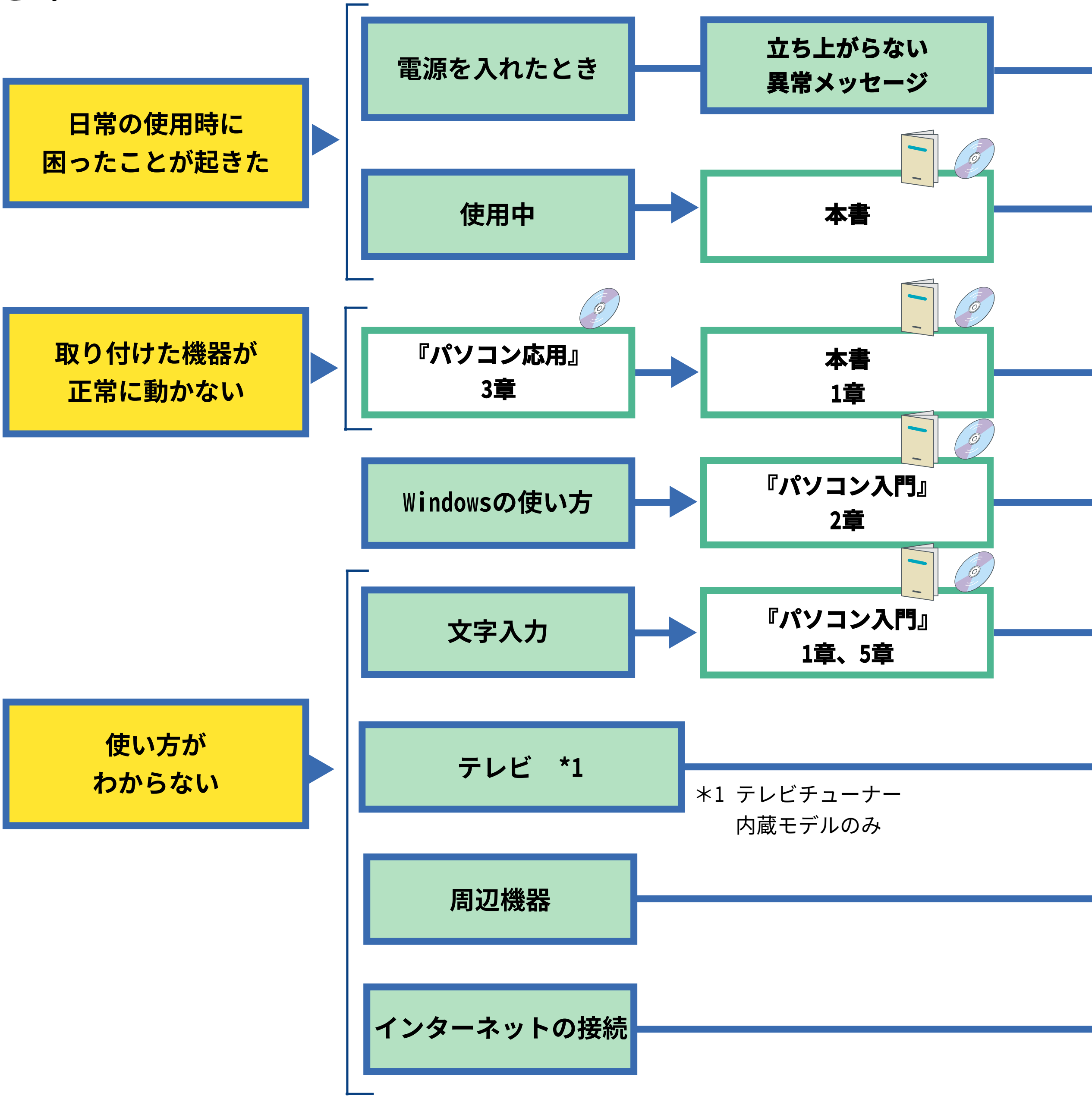
＊1月1日は休ませていただきます。
電話での対応は、国内に限らせていただきます。
携帯電話などの移動体通信機器からは一般回線をご利用ください。

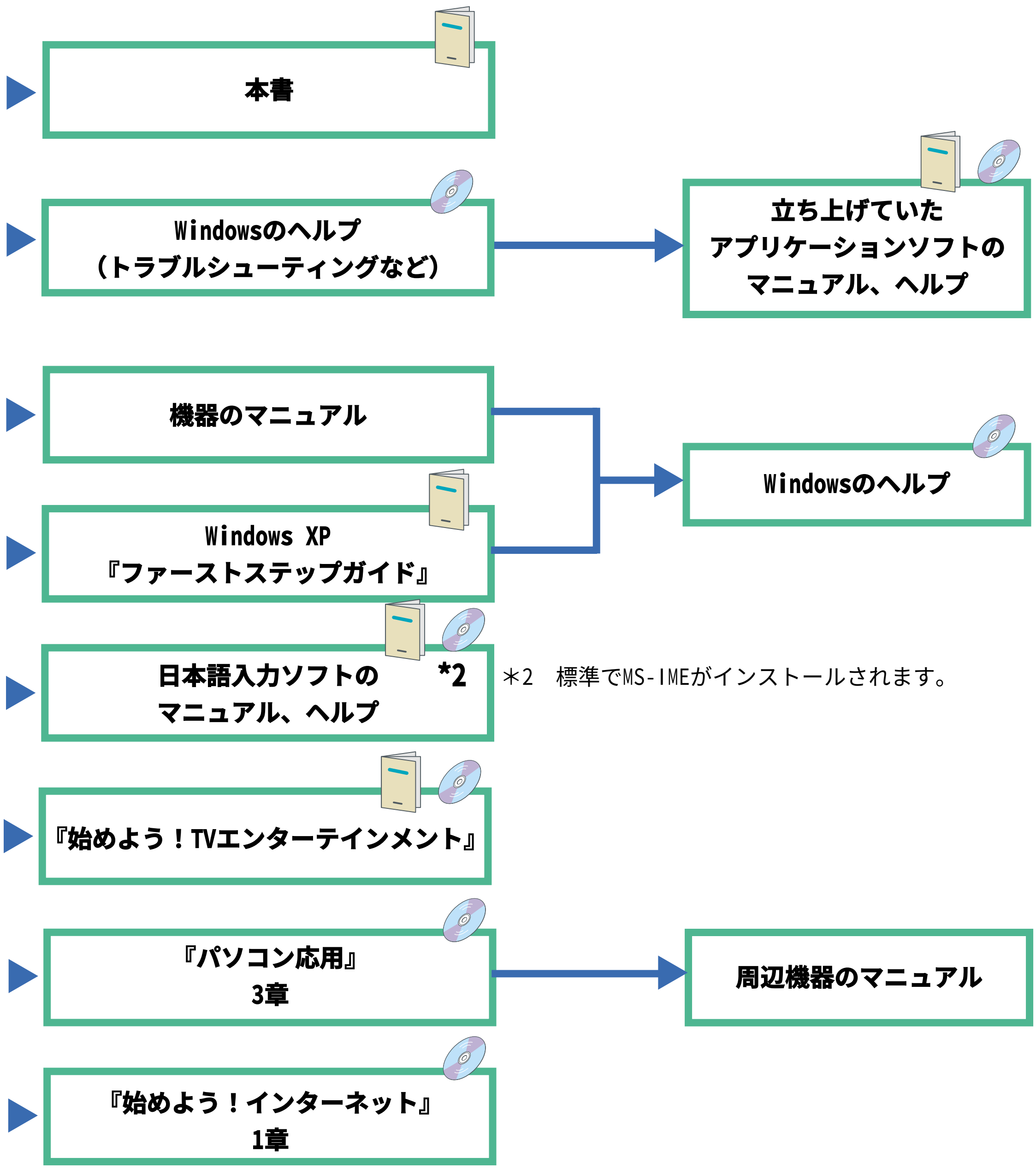
Webによるお問い合わせ
URL: http://prius.hitachi.co.jp/go/support/servinf/index1.htm

もくじ

あれ！ おかしいな、と思ったら

**まず、マニュアルやヘルプにチェックポイントや解決策が書かれていないか当たってみましょう。
下図を参考に探していけば、見落としがなくなります。
どうしてもわからないときは、各製品のメーカーや販売店、安心コールセンタにお問い合わせください。**




本書
Windowsのヘルプ
（トラブルシューティングなど）
立ち上げていた
アプリケーションソフトの
マニュアル、ヘルプ
機器のマニュアル
Windowsのヘルプ
Windows XP
『ファーストステップガイド』
日本語入力ソフトの
マニュアル、ヘルプ
*2
＊2　標準でMS-IMEがインストールされます。
『始めよう！TVエンターテインメント』
『パソコン応用』
3章
周辺機器のマニュアル
『始めよう！インターネット』
1章

困ったときのお問い合わせ先

本書やほかのマニュアルを読んでも、使い方がわからない、トラブルが解決しない!という場合は、次へお問い合わせください。あらかじめ、トラブルチェックシートに記入しておいてください。

アプリケーションに関しては、2章「サービス＆サポート」の電話番号へ

ご購入時にパソコンに組み込まれているアプリケーションについては、2章「サービス＆サポート」の電話番号またはWebサポートページにお問い合わせください。各アプリケーションソフトの販売元や開発元が受け付けています。

機器の増設に関しては、各機器の販売元や開発元へ

周辺機器などの増設は、純正オプション機器を除き、お客様の責任で行い、ご使用ください。機器の組み合わせで問題が起こるケースもありますので、増設したすべての機器のメーカー名や製品名をご確認の上、各機器の販売元や開発元へお問い合わせください。

その他のお問い合わせは、「安心コールセンタ」へ

「どうしても解決しないときは」に記載のアドレスや電話番号へお問い合わせください。

お問い合わせにあたって

お客様のパソコン環境を確認させていただきます。次のような準備をした上でお問い合わせください。まず、お名前をお伝えください。

機種名、購入年月日などを前もって確認

機種や製造時期によって対処方法が異なる場合があります。機種名は、「日立パーソナルコンピュータ保証登録書」の形名でご確認ください。アプリケーションの場合は、バージョン番号やシリアル番号も重要です。たずねられたらすぐに答えられるようにしておきましょう。

トラブルの内容を伝える

2章のトラブルチェックシートに、あらかじめ必要事項を記入します。そして、どのような状態のときにどんな問題が起こったのか、どのような対処をしてみたのか、現在はどんな状態なのかなど、トラブルの内容をお話しください。またいつも必ず同じことが起こるか、起こったり起こらなかったりするのかなど、細かい状況もお話しください。状況を的確にお伝えいただければ、それだけ解決も早まります。

本書や関連ソフトウェアのマニュアルはお手元に

解決方法がマニュアルに載っているのに、気付かないこともあります。お電話で「○○マニュアルの○○頁をご覧ください。」とお話しする場合もあります。

パソコンを操作しながらのほうが良い場合も

ご質問の内容によっては、パソコンを操作して確認していただいたほうが良い場合もあります。もし、お電話がパソコンの近くにあるときは、パソコンを操作できるようにしてご質問ください。

1章

パソコン Q & A

この章では、

パソコン共通のトラブルをできるだけ多く集め、

その対処方法を紹介しています。

トラブルが起こったらまずここを一度お読みください。

パソコンがおかしい

Q 電源スイッチを入れたが、電源が入らない

A AC アダプター、電源コード(AC コード)が、正しく接続されているか確認します。

A パソコン以外の器具をコンセントに接続して、正常に動作するか確認します。

A ACアダプターのコネクターが接触不良を起こしてる可能性があります。正しく接続されているか確認します。

A ノートパソコンでバッテリーを使用している場合、バッテリーが正しく接続されているか確認します。

A ノートパソコンでバッテリーを使用している場合、バッテリーの残量は十分にあるか確認します。

参照 確認方法について→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「バッテリーの容量を確認する」

Q エラーメッセージが表示された

A BIOSメニューの設定に問題がある可能性があります。BIOS メニューを開いて、ご購入時の状態に戻します。

参照 ご購入時の状態の戻し方→『接続と準備』6 章の「再セットアップについて」「BIOS の設定をご購入時の状態に戻す」

A プリンターや、ディスプレイ（デスクトップパソコンの場合）などの周辺機器が正しく接続されているか確認します。

Q パソコンが異常に熱い、煙が出た、異臭がする

A すぐにパソコンの電源を切るか電源ケーブルを抜きます。ご購入先か安心コールセンタにご連絡ください。

参照 お問い合わせ先について→2 章の「お問い合わせ情報」

Q 操作していないのに、カリカリと音がする

A Windows には、一定時間操作しないとき、HDD を最適な状態にするプログラムを自動的に立ち上げる機能があります。いつも操作しているときと同じ程度の音が聞こえても、心配はありません。

A あまりにも大きな音がしたり、音がしだいに大きくなっていくような場合は、すぐに電源を切り、ご購入先か安心コールセンタにご連絡ください。

参照 お問い合わせ先について→2 章の「お問い合わせ情報」

Q Windowsのセットアップの途中で電源を切ってしまった

A 1 分程度待ってから電源を入れ直し、最初からセットアップを行ってください。

Q ハードウェアの検出中に画面が動かなくなってしまった

A ハードウェアの検出には、数分から10数分かかることがあります。あわてて電源を切らず、しばらく待ってください。

A 10数分以上待っても画面が変わらないときは、電源スイッチを 4 秒以上押して電源を切ります。1 分程度待ってから電源を入れ直し、セットアップを行ってください。

Q パソコンに飲み物をこぼしてしまった

A すぐにWindowsを終了し、やわらかな布などで拭きとります。水分が十分に乾いてからご使用ください。キーボードやマウスに飲み物をこぼした場合も、同様にしてください。正常に動かない場合には、ご購入先か安心コールセンタにご連絡ください。

Q システムスタンバイ状態から元に戻らない

A アプリケーションや周辺機器がシステムスタンバイ機能に対応していません。システムスタンバイ機能をオフにしてお使いください。

参照 節電機能の設定変更について→電子マニュアル『パソコン応用』2章の「消費電力を節約する」

A システムスタンバイまたはシステム休止状態です。電源スイッチを４秒未満押します。

Q 添付品に足りないものがあった

A 同梱品チェックリストで添付品を確認します。それでも足りないときは、ご購入先か安心コールセンタにご連絡ください。

ディスプレイの表示がおかしい

Q 画面が真っ暗で、何も表示されない

A デスクトップパソコンの場合、パソコンとディスプレイの電源を切り、ディスプレイの電源を入れたあとで、パソコンの電源を入れます。

A ディスプレイの節電機能が働いています。[Shift]キーを押す、マウスを動かす、ポインティングパッドにタッチする、などの操作を行います。

A 一度電源を切り、ディスプレイケーブルが正しく接続されているか確認します。

A デスクトップパソコンの場合や、ノートパソコンで外付けディスプレイを使用している場合、ディスプレイのコントラスト調節ボリュームを明るくします。

A デスクトップパソコンの場合は、ディスプレイの明るさ調節ボリュームで明るさを設定します。ノートパソコンの場合は、キーボードの[Fn]キーを押しながら、所定のキーを押して明るさを設定します。

A デスクトップパソコンの場合、ACアダプターをディスプレイに正しく接続します。ノートパソコンの場合、ACアダプターをパソコンに正しく接続します。

A 電源コードを、ACアダプターとコンセントの両方に正しく接続します。

A デスクトップパソコンの場合、ディスプレイの取扱説明書を参照し、異常がないか確認します。

A ノートパソコンでバッテリーを電源として使用している場合、電源ランプが点灯しているか確認します。消灯しているときは、バッテリーの残量がなくなりシステムスタンバイ状態になっています。ACアダプターを接続してからパソコンを復帰させます。

Q 表示色がおかしい、色の数が少ない

A パソコン、ディスプレイの順に電源を入れると、ディスプレイの表示色がおかしくなることがあります。そのときは両方の電源を切り、ディスプレイ、パソコンの順に電源を入れ直します。

A 画面の表示色を正しく設定します。デスクトップの背景部分でマウスを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。[画面プロパティ]の[設定]タブをクリックして、画面の色を調整します。

A ディスプレイのコントラスト調整で画面の色を調整します。

A 液晶ディスプレイは、画面の一部にドット欠けや常時点灯が発生する場合がありますが、故障ではありません。
なお、ドット欠けや常時点灯が急に増えるような場合には、安心コールセンタにご連絡ください。

Q 表示がちらついたり色がずれたりする

A テレビなど、近くに強い磁気を発生するものがあります。ディスプレイから離してご使用ください。

A ケーブルを正しく接続し直します。

A 明るさなどを正しく設定します。

A アプリケーションによっては、表示する画面の色の数や画面の解像度を指定している場合があります。

A CRT ディスプレイを接続してお使いの場合、パソコンの使用中に、パソコンやCRTディスプレイの位置を変えると、CRTディスプレイに磁気の影響で色ムラが発生することがあります。一度電源を切り、30分以上時間をおいてから再び使用してください。

A パソコンの周囲に、電源の入っている精密機器を置いている場合は、移動してください。

Q ディスプレイの表示が読めない、または歪んでいる

A デスクトップパソコンの場合や、ノートパソコンで外付けディスプレイを使用している場合、ディスプレイのリフレッシュレートの設定が、ディスプレイの仕様を超えている可能性があります。リフレッシュレートを設定し直します。

参照 設定について→電子マニュアル『パソコン応用』1 章の「リフレッシュレートの設定」または、ディスプレイ付属のマニュアル

A ゲーム実行中に表示がおかしくなる場合は、次の方法で回避できることがあります。

- ゲームのオプション画面などで表示設定を調整する
- グラフィックアクセラレーターを[なし]に設定する

1 [スタート]ボタン−[コントロールパネル]を選択し、[システム]アイコンをダブルクリックする。

2 [詳細設定]タブの「パフォーマンス」ボックスの[設定]ボタンをクリックする。

3 [パフォーマンスを優先する]を選択する。

4 [OK]ボタンを2回クリックしてダイアログを閉じ、Windowsを立ち上げ直す。

※本設定を行うと、視覚効果の設定がすべて無効になります。

カーソルだけが表示される

A 原因が特定できません。お問い合わせください。

参照 お問い合わせ先について→2章の「お問い合わせ情報」

何も表示されず、ビープ音が2回以上鳴る

A 電源を切り5秒以上待ってから、電源を入れ、立ち上げ直してください。それでも立ち上がらない場合は、故障の可能性があります。お問い合わせください。

参照 お問い合わせ先について→2章の「お問い合わせ情報」

電源が切れているのに、何か表示されている

A 「NO SYNC」と表示されているときは、パソコンの電源を入れてください。それ以外の表示の場合は、故障の可能性があります。お問い合わせください。

参照 お問い合わせ先について→2章の「お問い合わせ情報」

キーボードの動作がおかしい

キーを押しても入力できない

A [Num Lock]キーまたは[Fn]＋[Num Lock]キーを押します。この設定が行われていないと、テンキーで数字の入力ができません。

A 大容量のデータのコピー中であったり、ダイアログボックスを開いてマウスで設定している場合は、一時的にキーボードからの入力を受け付けなくなります。

A キーを組み合わせないと、入力できない文字があります。

A 特殊な文字は、文字一覧から選択してください。

A USBキーボードやマウスは、システムスタンバイ状態などから復帰したときに、動かなくなることがあります。この場合は、USBコネクターを抜き差ししてください。

不正な文字が表示されることがある

A コマンドプロンプト実行中は、キーボード上部のCD操作キーやボリューム操作キーを押さないでください。不正な文字が表示されることがあります。

Q 正しい文字入力ができない/ワンタッチキーが動作しない

A デスクトップパソコンの場合、キーボードドライバーの更新を行います。

1 [スタート]ボタン−[コントロールパネル]を選択する。

2 [システム]アイコンをダブルクリックして開き、[ハードウェア]タブをクリックする。

3 [デバイスマネージャ]ボタンをクリックする。

4 リストの[キーボード]をダブルクリックし、[HID Keyboard(Japanese 106/109 key)]のプロパティーを開いて、[ドライバ]タブに[HID Keyboard(Japanese 106/109 key)]と表示されているか確認する。

5 表示されていない場合は[ドライバの更新]ボタンをクリックして、[ハードウェアの更新ウィザード]を立ち上げ、[HID Keyboard(Japanese 106/109 key)]を選ぶ。

6 メッセージに従ってWindowsを立ち上げ直すと、キーボードの種類が変更され、入力できるようになる。

A ノートパソコンの場合、次の手順でキーボードドライバーの更新を行います。

1 [スタート]ボタン−[コントロールパネル]を選択する。

2 [システム]アイコンをダブルクリックして開き、[ハードウェア]タブをクリックする。

3 [デバイスマネージャ]ボタンをクリックする。

4 リストの[キーボード]をダブルクリックし、「101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2キーボード」のプロパティーを開いて、[ドライバ]タブに「101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2キーボード」と表示されているか確認する。

5 違っている場合は、[ドライバの更新]ボタンをクリックして[ハードウェアの更新ウィザード]を立ち上げ、「101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2キーボード」を選ぶ。

6 メッセージに従ってWindowsを立ち上げ直すと、キーボードの種類が変更され、入力できるようになる。

A ワンタッチキーを設定します。
「再セットアップDVD」からワンタッチキーユーティリティーをインストールして、行ってください。

参照 ワンタッチキーの設定方法→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「応用操作」「ワンタッチキーを設定する」

Q キーボード左上の[Power]ボタンを押しても電源が入らない

A デスクトップパソコンの場合、キーボード左上にある[Power]ボタンは、電源を切るためのボタンです。Windowsが立ち上がっているときに押すと、Windowsが終了します。電源が入っていない状態で[Power]ボタンを押しても、電源は入りません。

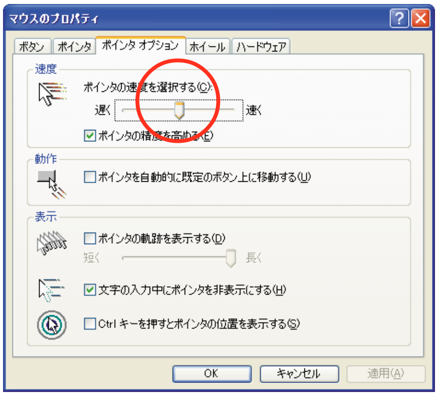
マウスの動きがおかしい

Q マウスカーソルの動きが遅い

A マウスカーソルの速度を速くします。

1 [スタート]ボタン−[コントロールパネル]を選択し、[マウス]アイコンをダブルクリックする。

2 [動作]タブ、または[ポインタオプション]タブをクリックし、[速度]、または[ポインタの速度を選択する]でマウスカーソルの動きを速くする。



Q マウスカーソルが動かない

A マウスケーブルを正しく接続します。

参照 マウスケーブルの接続について→『接続と準備』の「2.接続しよう」「パソコンを接続しよう」(デスクトップパソコンの場合)

A そのまま、しばらくお待ちください。アプリケーションの動作中、通信中や印刷中にもマウスが動かないことがあります。

A Windowsか、実行中のアプリケーションに何らかの異常が発生しています。[Ctrl]キーと[Alt]キーを押したまま、[Delete]キーを押して離すと、[プログラムの強制終了]ダイアログボックスが開きます。
異常が発生していると思われるプログラムを選び、[終了]ボタンをクリックします。

A USBマウスやキーボードは、システムスタンバイ状態などから復帰したときに、動かなくなることがあります。この場合は、USBコネクターを抜き差ししてください。

A [マウスのプロパティ]の[ボタン]タブで、各ボタンに割り当て可能な機能のうち、「ハイパーメニュー」、「スクロールバー(横)」、「スクロールバー(縦)」、「最小化を元に戻す」、「サイバージャンプ」、「ハイパージャンプ」の一部機能は、アプリケーションによって動作しないことがあります。

A セーフモードで立ち上げると、マウスが動かなくなることがあります。キーボードのキーで操作するか、パソコンを立ち上げ直して、通常のモードでお使いください。

Q マウスカーソルが動かしたい方に動かず、突然移動する

A AC電源に問題があるかもしれません。系統の違うACコンセントに変更するか、ノイズフィルター付きOAタップを使用します。

A ノートパソコンの場合、マウスドライバーの状態を調べ、タッチパッドドライバーと競合しているときは、解除してください。

マウスがなめらかに動かない

A 透明な場所や反射をする場所では、光学式マウスのイメージセンサーが正しく動作しない場合があります。マウスパッドを使うときは、光学式マウス対応のものをご使用ください。

A ノートパソコンの場合は、タッチパッドの感度を弱めてください。

パソコンの電源を切っても、イメージセンサーの部分が光っている

A 特に問題ありません。そのままご使用ください。

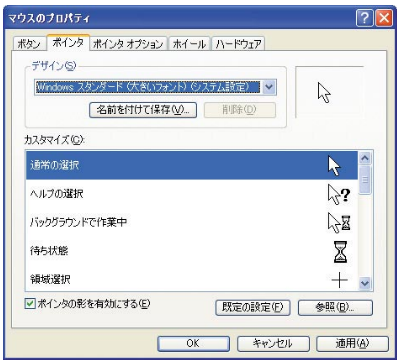
マウスカーソルが小さい

A マウスカーソルのサイズを大きくします。

1 [スタート]ボタン－[コントロールパネル]を選択し、[マウス]アイコンをダブルクリックする。

2 [ポインタ]タブをクリックする。

3 [デザイン]のリストから[Windowsスタンダード(大きいフォント)(システム設定)]を選択する。



4 [OK]ボタンをクリックする。

リモコンのトラブル

リモコンが動作しない

A デスクトップパソコンの場合、インタフェースケーブルのUSBコネクターをパソコンに正しく接続します。パソコンとディスプレイのUSBコネクターに、インタフェースケーブルが正しく接続されているか確認します。

参照 インタフェースケーブルの接続について→『接続と準備』「2.接続しよう」の「パソコンを接続しよう」

A リモコン受光部の前に障害物がある場合は、障害物を取り除いてください。

A リモコンの電池の残量が少ない場合は、電池を交換してください。

音が聞こえない、録音できない

スピーカーから音が出ない

A デスクトップパソコンの場合、スピーカーのプラグをパソコンに正しく接続します。スピーカー出力コネクターに、スピーカーのプラグが正しく接続されているか確認します。

参照 スピーカーの接続について→『接続と準備』「2.接続しよう」の「パソコンを接続しよう」

A デスクトップパソコンの場合、ディスプレイのスピーカーボリュームを調整します。

A ノートパソコンの場合、ハードウェアボリュームを調整します。

A スピーカーの音量が低くなっています。ボリュームを調整します。

参照 音量の調整について→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「音量を調整する」

A 再生しようとする音声ファイルの録音レベルが低くなっています。適切な録音レベルに調整して録音してください。

A サウンドドライバーを正常に動作させます。

1. **[スタート]ボタン−[コントロールパネル]を選択し、[システム]アイコンをダブルクリックする。**
2. **[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックする。**
3. **リストの[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]のドライバーに「?」マークが付いていないか確認する。「?」が付いていた場合は、ドライバーを再インストールする。**

参照 サウンドドライバーの再インストールについて→電子マニュアル『パソコン応用』4章の「ドライバー、ユーティリティーのセットアップ」「サウンドドライバー」

A スライドバーなどの［ミュート］にチェックマーク（☑）が付いている場合は、外してください。

Q マイクで録音できない

A パソコンの入力端子とマイクのインピーダンスが合わないと音量が小さくなることがあります。

参照 マイクのインピーダンスについて→マイク付属のマニュアル

A マイクのプラグが、パソコンに正しく接続されていません。マイクコネクターにマイクのプラグが正しく接続されているか確認します。

参照 マイクの接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「ヘッドホン、マイクを接続する」

A マイクの録音レベルが低くなっています。[ボリュームコントロール]または[Volume Control]でマイクの録音レベルを適切に調整して録音します。

参照 録音レベルの調整について→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「マイクを使って録音する」

Q 音声認識アプリケーションのマイク調整が適切に設定できない

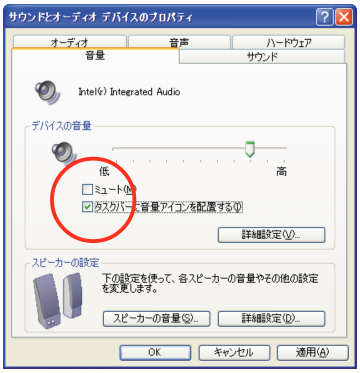
A マイクの感度設定が不適切です。[マスタ音量]でマイクの感度を調整します。

参照 録音レベルの調整について→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「マイクを使って録音する」

Q タスクバーに音量のアイコンが表示されない

A 音量のアイコンをタスクバーに表示する設定にします。

1. **[スタート]ボタン−[コントロールパネル]を選択し、[サウンドとオーディオデバイス]アイコンをダブルクリックする。**
2. **[音量]タブをクリックする。[タスクバーに音量アイコンを配置する]に、チェックマークが付いているか確認する。チェックマークが付いている場合は、Windowsを立ち上げ直す。**



Q 音声が途切れたり、繰り返したりする

A ディスクに読み書きしています。ディスクに読み書きしている状態で、再生時間の長い音を再生すると、音が途切れたり、繰り返したりする場合がありますが問題はありません。Windowsの起動音が途切れる場合は、[コントロールパネル]ー[サウンドとオーディオデバイス]の[サウンド]タブで、「Windowsの起動」を選択して[サウンド]の一覧で再生時間の短い音を設定するか、「なし」に設定します。

A 録音する場合には、[コントロールパネル]ー[サウンドとオーディオデバイス]の[オーディオ]タブで、[録音]のデバイスを選択してください。

A ゲーム実行中に音が途切れたりする場合は、次の手順でハードウェアアクセラレーターを「なし」に設定すると、回避できることがあります。

1. [スタート]ボタンー[コントロールパネル]を選択し、[サウンドとオーディオデバイス]アイコンをダブルクリックする。
2. [オーディオ]タブをクリックする。
3. [音の再生]の[詳細設定]ボタンをクリックする。
4. [パフォーマンス]タブをクリックする。
5. ハードウェアアクセラレーターを「なし」に設定する。
6. [OK]、[OK]の順にクリックし、Windowsを立ち上げ直す。

Q ヘッドホンをつないでも外付けスピーカーから音が出る

A 外付けスピーカーをライン出力コネクターに接続していると、ヘッドホンと外付けスピーカーの両方から音がでます。ヘッドホンをつないだときに外付けスピーカーの音を消したい場合は、外付けスピーカーをスピーカー出力コネクターに接続してください。

Q 二ヶ国語放送の再生時、主音声と副音声が設定通り再生されない

A 番組を録画する場合、音声は予約 / 録画する際に設定した音声モードで録画されます。録画した番組を再生するときに音声設定を変更しても、聞こえる音声は変わりません。二ヵ国語放送の場合も、録画ファイル内に主音声 / 副音声の両方の音声データが含まれているわけではなく、録画の際に設定された音声モードのデータのみが含まれます。そのため、再生時に音声設定を変更しても、聞こえる音声は変わりません。

プリンターで印刷できない

Q プリンターが使えない

A [スタート]ボタン−[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとFAX]アイコンをダブルクリックします。使用するプリンターのアイコンがなければ、ドライバーをインストールします。

参照 ドライバーのインストールについて→プリンター付属のマニュアル

A プリンターケーブル（USBケーブル）を正しく接続します。

参照 プリンターの接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「プリンターを接続する」または、「USB機器を接続する」

A プリンターの電源を入れます。

A パソコンとプリンターの電源を切り、プリンターの電源を入れたあとで、パソコンの電源を入れます。

A プリンターに異物や用紙がつまっています。プリンターの表示ランプを確認します。

A プリンターケーブル（USBケーブル）が絡んでいます。信号妨害のないように、ケーブルどうしはできるだけ離しておきます。

A 使用するプリンターのアイコンにチェックが付いているか確認します。チェックが付いていない場合は、プリンターのアイコンを右クリックして、[通常使うプリンタに設定] をクリックします。

Q 正しくプリントできない

A 正しいプリンターを選びます。アプリケーションの[ファイル]−[印刷]ダイアログボックスなどで、正しいプリンターが選ばれているか確認します。

A プリンターをテストして、正しく印字できるか確認します。[スタート]ボタン−[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとFAX]アイコンをダブルクリックします。目的のプリンターのプロパティーを開き、[全般]タブの[テストページの印刷]ボタンをクリックして、テスト結果から原因を推測して対処します。

参照 プリンターのテスト方法について→プリンター付属のマニュアル

Q 途中までしか印刷しない

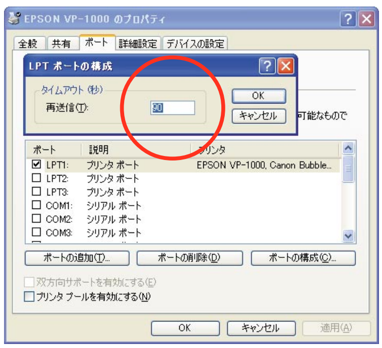
A プリンターのインクがなくなっていないかを確認します。

参照 インク残量の確認方法について→プリンター付属のマニュアル

A 用紙がなくなっていないかを確認します。

A タイムアウト時間を長く設定します。

1. [スタート]ボタン−[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとFAX]アイコンをダブルクリックする。
2. 使用するプリンターを右クリックし、[プロパティ]を選択する。
3. [ポート]タブをクリックし、[ポートの構成]ボタンをクリックして、[再送信]の秒数を増やす。



FDの異常

ヒント FDを使用する場合は、オプションのFDDを使用してください。
オプションのFDDについては、電子マニュアル『パソコン応用』7章の「オプション情報」をご参照ください。

Q FDにデータが書き込めない

A FDのライトプロテクトノッチが、「書き込み禁止」側に入っています。「書き込み可能」側に移動させます。

参照 書き込み禁止について→『パソコン入門』の「1．パソコンを始めよう」「使えるディスク」

A FDの残り容量が不足しています。[マイコンピュータ]の[3.5インチ FD]のプロパティーを開き、FDの残り容量が不足していないか確認します。

Q FDからデータが読み込めない

A このパソコンで読み込めない種類のFDです。読み込めるのは、720KB/1.44MBのFDです。

A MacintoshでフォーマットされたFDは使用できません。

A 弊社のパソコン以外でフォーマットしたFDは、読み込めないことがあります。

A FDがフォーマットされていません。新しいFDには、そのままでは使用できないものもあります。

Q FDが認識されない

A FDをFDDに正しくセットします。FDDの中に引っかかっている場合は、FDを軽く押してください。

A 別のFDを読み込んでみて、正しく読み込める場合は、そのFDが壊れています。FDは直射日光や磁気を発するもの、高温を避け、湿気・水にさらされないように保管してください。

CD/DVDドライブ

ヒント ドライブの種類は、機種により異なります。

Q ディスクを読み込めない

A ディスクが規格に合っていません。Macintosh 用のディスクは読み込みできません。Windows用をご使用ください。

A ディスクに汚れや傷がついていないか確認してください。

A このパソコンに付属のCD-ROMまたはDVD-ROMをセットし、読み込めるか確認してください。

A ディスクを入れたままWindowsを立ち上げると、ディスクが認識されない場合があります。一度ディスクを取り出し、入れ直してください。

Q 使用できるDVD-R/RW/RAMメディアや保存できるデータのタイプがわからない

A DVD-R、DVD-RW と DVD-RAM では、次のような違いがあります。

- DVD-R：
  記憶容量 3.95GB タイプ（読み込みのみ）、および 4.7GB タイプ（読み込み、書き込みとも可能）のメディアが使用可能。DVD ビデオデータ、PC データの書き込み可能。
- DVD-RW：
  記憶容量 4.7GB のメディア（Ver.1.1）が使用可能。DVDビデオデータ、PCデータの書き込みや書き替えが可能。
- DVD-RAM：
  記憶容量が両面2.8GBの8cmメディア、片面 2.6/ 両面 5.2GB の 12cm メディア（読み込みのみ）、片面4.7/両面9.4GB の 12cm メディアが使用可能。
  DVD ビデオレコーディングデータ、PC データとも書き込み可能。使用前にフォーマットする必要があり、データの書き替えが可能。

HDDのトラブル

Q HDDに不良セクターがある

A HDDは、高密度な磁気ディスクにデータを保存する精密機器です。磁気ディスクには微小な欠点があり、これらの領域にはデータを書き込まないようになっています。HDDのエラーチェックプログラムを実行すると、「不良セクタ」もしくは「スキップセクタ」が表示されることがあります。これは、データを書き込まない領域を表示しているだけで、HDDの不良ではありません。取り付けられている内蔵HDDの容量と、エラーチェックプログラム実行時に表示される「全ディスク容量」との関係は次の通りです。内蔵HDDが複数のパーティションに分割されている場合は、各領域の合計値です。この場合、合計値が次の値以下になる場合があります。なお、＊は『パソコン応用』の「技術情報」の HDD の欄をご参照ください。

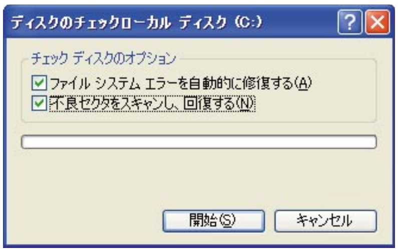
内蔵 HDD 容量：＊ GB

全ディスク容量：＊× 1000000000 バイト以上

Q HDDランプが点灯したままになっている

A HDD が壊れている可能性があります。プログラムを強制的に終了させ、[チェックディスクツール] を実行して、HDD にエラーがないかチェックします。[チェックディスクツール] は、次の手順で行います。

1. [スタート] ボタン－[マイコンピュータ] を選択する。
2. [ローカルディスク(C:)] アイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックする。
3. [ツール] タブをクリックし、[エラーチェック] の [チェックする] ボタンをクリックする。
4. [ファイルシステムエラーを自動的に修復する] と [不良セクタをスキャンし、回復する] をチェックし、[開始] ボタンをクリックする。

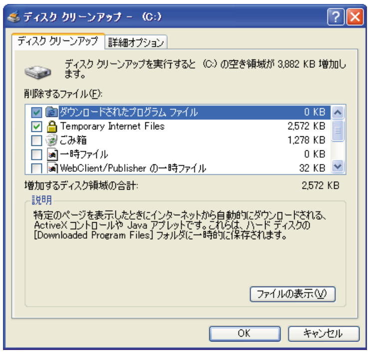


5. メッセージが表示される場合は、[はい] ボタンをクリックしたあと、パソコンを立ち上げ直す。チェックディスクツールが開始され、終了すると結果レポートが表示される。

Q HDDの空き容量が少なくなった

A ディスククリーンアップを実行してインターネット一時ファイルなどを削除します。

1. [スタート]ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システムツール]－[ディスククリーンアップ]を選択する。[ドライブの選択]が表示される。
2. [ディスククリーンアップ]タブをクリックする。削除するファイルのチェックボックスをオン/オフし、[OK]ボタンをクリックする。



3. 確認のメッセージで[はい]ボタンをクリックする。

A 不要なファイルを削除します。

A 不要なアプリケーションを削除します。

参照 アプリケーションの削除方法→『接続と準備』6章の「再セットアップについて」「セットアップの前に」「[プログラムの追加と削除]による削除」

A HDDを増設し、ファイルを移動します。

A CD-R/RWドライブなどにディスクをセットし、ファイルを移動します。

次の手順を行ってください。

1. 空のCD-R(またはCD-RW)をCD-R/RWドライブに入れる。
2. コピーしたいファイルまたはフォルダーを選択する。
3. ファイルまたはフォルダーが選択された状態で、マウスの右ボタンをクリック。
4. [送る]の[CDドライブ]をクリック。
5. 画面右下に表示されるメッセージの[i]ボタンをクリック。
6. [これらのファイルをCDに書き込む]をクリック。
7. [CD書き込みウィザード]に従って進む。

これで、ファイルやフォルダーがCD-R/RWにコピーされます。

Q 1台のHDDに、複数のドライブを作りたい

A 再セットアップの際に複数の領域(パーティション)を作成し、フォーマットすると、複数のドライブができます。

参照 複数の領域の作成について→電子マニュアル『パソコン応用』4章の「パーティションの設定」

重要 パーティションを作成すると、HDD内のデータはすべて削除されます。

アクセスランプ

◆ 機種によって標準で実装されているドライブは異なります。

Q FDDランプが点灯したままになっている

A 入っているFDを抜き出し、別のFDをFDDにセットします。[マイコンピュータ]の[3.5インチFD]アイコンをダブルクリックしてFDを読み直せるか確認します。読み込めない場合は、FDDが壊れている可能性があります。

A アプリケーションを実行しようとしている場合は、そのアプリケーションが壊れている可能性があります。別のアプリケーションを実行してみてください。

Q CD/DVDランプが点灯したままになっている

A ディスクが壊れている可能性があります。別のCD-ROMをドライブに入れ、[マイコンピュータ]ウィンドウ内のCD-R/RWドライブのアイコンをダブルクリックして、CD-ROMを読み直します。

Q HDDランプが点灯したままになっている

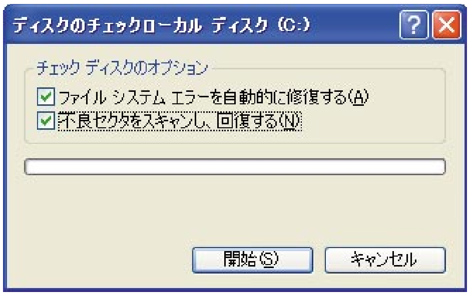
A HDDが壊れている可能性があります。プログラムを強制的に終了させ、[チェックディスクツール]を実行して、HDDにエラーがないかチェックします。[チェックディスクツール]は、次の手順で行います。

1 [スタート]ボタン－[マイコンピュータ]を選択する。

2 [ローカルディスク(C:)]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックする。

3 [ツール]タブをクリックし、[エラーチェック]の[チェックする]ボタンをクリックする。

4 [ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]をチェックし、[開始]ボタンをクリックする。



5 メッセージが表示される場合は、[はい]ボタンをクリックしたあと、パソコンを立ち上げ直す。チェックディスクツールが開始され、終了すると結果レポートが表示される。

Q ファイルベイランプが点灯したままになっている（ノートパソコンの場合）

A CD-ROMが壊れている可能性があります。別のCD-ROMをドライブに入れ、[マイコンピュータ]ウィンドウ内のCD-R/RWドライブのアイコンをダブルクリックして、CD-ROMを読み直します。

バッテリーのトラブル（ノートパソコンの場合）

Q ビープ音が鳴る、またはパソコンの電源ランプがオレンジ色に点灯・点滅する

A バッテリーの容量が残りわずかです。バッテリーを充電してください。

参照 バッテリーの充電について→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「バッテリーの使い方」

Q 満充電にしてもすぐ消耗してしまう

A 完全放電と完全充電を数回繰り返します。それでも直らないときは、バッテリーパックの寿命です。バッテリーパックは約300回充放電を行うと寿命になります。なお、CD-ROMを連続再生するなど負担の大きい使い方をすると、寿命が著しく低下することがあります。

その他の周辺機器のトラブル

Q ドライバーがFDでの提供なので、組み込めない

A FDDのないパソコンでは、FDは使えません。別売のFD装置を購入するか、周辺機器メーカーにお問い合わせください。ホームページなどからドライバーを入手できる場合もあります。

Q USB-FDDにアクセスすると、システムが不安定になる

A 市販のUSB-FDDをお使いの場合、コマンドプロンプトでは、FDにアクセスしないでください。組み合わせによっては、システムが不安定になることがあります。

A ほかのUSB装置を外して、USB-HUB(AC付き)を使用することで、現象を回避できる場合があります。

Q 取り付けたあと、周辺機器が使えない

A いったん周辺機器を取り外し、正しく取り付けます。

参照 周辺機器の接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「パソコンを拡張する」

A パソコンと周辺機器の電源を切り、周辺機器の電源を入れた後でパソコンの電源を入れます。

A ケーブルなどを正しく接続します。

参照 周辺機器の接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「パソコンを拡張する」

A 周辺機器のドライバーの中には、取り外したあとセーフモードでドライバーを削除しなければならない場合があります。

A 周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

Q PCカードや拡張ボードの動作が不安定になる

A PCカードまたは拡張ボードが抜けかかっています。一度PCカードまたは拡張ボードをパソコンから取り外し、正しく取り付け直します。

参照 PCカードの取り付けについて→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「PCカードを使う」

参照 拡張ボードの取り付けについて→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「拡張ボードを取り付ける」(デスクトップパソコンの場合)

A **LANカードなど通信用のPCカードを接続し、そのカードが節電機能を制限している場合は、節電機能が働かないように設定します。**

参照 設定方法について→電子マニュアル『パソコン応用』2章の「節電機能を使わないようにするとき」

Q 増設したメモリー容量が増えていない、パソコン立ち上げ時に表示されるメモリー容量が異常である

A **メモリーボードを正しく取り付けます。**

参照 メモリーボードの取り付けについて→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「メモリーボードを取り付ける」

A **[スタート]ボタン−[マイコンピュータ]を選択します。[システムのタスク]の[システム情報を表示する]をクリックし、表示される[システムのプロパティ]画面の[全般]タブをクリックして、メモリー容量を確認します。ただし[システムのプロパティ]で表示されるメモリー容量は、実際の容量よりも若干少なく表示されます。**

Q LANが接続できない

A **接続するHUB、ルータ、ADSLモデムと通信モード(速度や全二重/半二重の設定)を合わせます。接続するHUBにオートネゴシエーション機能がない場合は、10BASE-T/100BASE-TXなどの設定を正しく合わせます。**

A **接続しているHUBの電源を入れます。**

A **サーバーが立ち上がっていることを確認します。**

A **LANケーブルの種類を確認します。LANケーブルには、10BASE用と100BASE用があります。さらに、クロスケーブルとストレートケーブルに分けられます。**

A **LANケーブルの長さを確認します。LANケーブルの長さには、制限があります。**

参照 LANケーブルの長さについて→各種LAN機器に付属のマニュアル

Q i.LINKでi.LINK機器を接続しても映像が取り込めない

A **i.LINKは、規定内容の細部がメーカーによって若干異なる場合があります。そのため、メーカーや機種によってはi.LINKで接続しても機器を認識せず、WinDVD Creatorで映像を取り込めない場合があります。Priusでの動作が確認されているi.LINK機器については、安心コールセンタにお問い合わせいただくか、PriusWorldサポートページでご確認ください。**

参照 お問い合わせ先について→2章の「お問い合わせ情報」

システムの動作がおかしい

Q Windowsが立ち上がらない

A **FDDにFDが入っていないか確認します。**

A **セーフモードで立ち上げ、チェックディスクツールを実行します。**

1 **パソコンの電源を入れ、立ち上げ画面が表示されたらすぐに、アラーム音が鳴るまで[F8]キーを押す。**

2 「セーフモード」を選択し、[Enter]キーを押す。

3 「Microsoft Windows XP Home Edition」を選択し、[Enter]キーを押す。

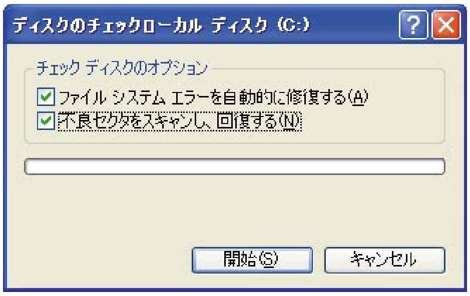
4 ユーザーを選択する画面が表示されたら「Administrator」を選択する。セーフモードで立ち上げるメッセージが表示されるので、[はい]ボタンをクリックする。

5 [スタート]ボタン−[マイコンピュータ]を選択する。

6 [ローカルディスク(C:)]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックする。

7 [ツール]タブをクリックし、[エラーチェック]の[チェックする]ボタンをクリックする。

8 [ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]をチェックし、[開始]ボタンをクリックする。チェックディスクツールが開始され、終了すると結果レポートが表示される。



9 [OK]ボタンをクリックする。

10 Windowsを立ち上げ直す。

A FDからWindowsが立ち上がらないときは、FDがドライブに正しくセットされているか、または本パソコン用の起動ディスクかどうか、ご確認ください。

Q Windowsやアプリケーションが終了できない

A [Ctrl]と[Alt]キーを押したまま[Delete]キーを押し、Windowsまたは終了できないアプリケーションを強制的に終了させます。

A 決まったアプリケーションを使用しているときに起きるときは、アプリケーションを強制終了したあと、そのアプリケーションを削除し、再インストールします。

A 電源スイッチを4秒以上押して電源を切ってください。

A パソコンを再セットアップします。

参照 再セットアップについて→『接続と準備』6章の「再セットアップについて」

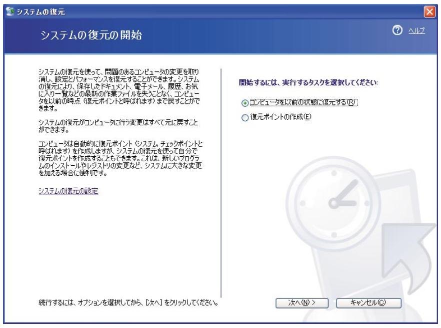
Q 異常な動作が続いて、どうしても解決しない

A 「システムの復元」を実行します。

ヒント 「システムの復元」を使えば、パソコンを正常な状態に戻すことができる場合があります。
「システムの復元」は作成した文書ファイルや「お気に入り」などを消去することなく、破損したWindowsのファイルを復元します。

1 [スタート]ボタン−[すべてのプログラム]を選択する。

2 ［アクセサリ］－［システムツール］－［システムの復元］をクリックする。



3 以下、画面の指示に従い、実行してください。

参照　システムの復元について→Windowsのヘルプ

Q BIOSメニューの設定を変更したら、正しく動作しなくなった

A BIOSメニューの設定値を出荷時の状態に戻します。増設した拡張ボードがある場合は取り外し、BIOSメニューで、設定値を出荷時の状態に戻します。

参照　出荷時の設定値の戻し方→『接続と準備』6章の「再セットアップについて」「BIOSの設定をご購入時の状態に戻す」

Q 「CMOS Checksum Error」などと表示される

A パソコン内部に設置されているリチウム電池が消耗しています。安心コールセンタにお問い合わせの上、リチウム電池の交換を依頼します。お客様自身で交換することはできません。なお、リチウム電池を取り外すと、メモリーに入っているBIOSメニューで設定した情報が消えます。設定内容はあらかじめ控えておいてください。

参照　お問い合わせ先について→2章の「お問い合わせ情報」

Q 立ち上げ時、ピーといって立ち上がらない

A キーボードの上に物が乗っているなど、キーを押し続けた状態になっています。物を取り除いてください。

A パソコンにメモリーボードを正しく取り付けてください。

参照　メモリボードの取り付けについて→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「メモリーボードを取り付ける」

Q キーボードなどを操作しても画面の表示が変わらない

A ［Ctrl］キーと［Alt］キーを押したまま［Delete］キーを押し、Windowsを立ち上げ直します。

A ドライブCの不要なファイルを削除して空き容量を増やします。

A 決まったアプリケーションを使用しているときに起きる場合は、そのアプリケーションを削除し、再インストールします。

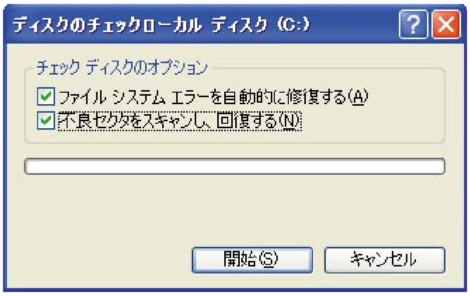
A HDDを修復します。

1 ［スタート］ボタン－［マイコンピュータ］を選択する。

2 ［ローカルディスク(C:)］アイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックする。

3 ［ツール］タブをクリックし、［エラーチェック］の［チェックする］ボタンをクリックする。

4 ［ファイルシステムエラーを自動的に修復する］と［不良セクタをスキャンし、回復する］をチェックし、［開始］ボタンをクリックする。



5 [ファイルシステムエラーを自動的にメッセージが表示される場合は、[はい]ボタンをクリックしたあと、パソコンを立ち上げ直す。チェックディスクツールが開始され、終了すると結果レポートが表示される。

Q 電源を入れたら「Checking file system on C:」と表示された

A ドライブのエラーをチェックするためにチェックディスクツールが立ち上がっています。数分で終了するので、終了するまではパソコンを操作したり、電源を切ったりせずにそのまま待ちます。

Q Windowsを立ち上げるたびにチェックディスクツールが実行される

A 付属や市販のウイルスチェックソフトでウイルスチェックします。
なお、最新のウイルス情報を入手するには、次の手順を行います。

1 インターネットエクスプローラの「お気に入り」から「日立お勧めのサイト」フォルダーの「Prius World」をクリックする。Prius Worldの画面になったら、ウイルス情報のページへ。

コンピューターウイルスに関する最新情報が見られます。

2 「ウイルス対策マニュアル」をクリックする。

ウイルスに感染したときの症状、駆除の方法など、基礎的な知識が得られます。

A パソコンを再セットアップします。

参照 再セットアップについて→『接続と準備』6 章の「再セットアップについて」「ご購入時の状態に戻すには」

Q アプリケーションが立ち上がらない

A ショートカットのプロパティーで設定する[実行時の大きさ]が「最小化」になっているため、タスクバーにアプリケーションが表示されています。タスクバーのアプリケーションをクリックしてウィンドウを開きます。アプリケーションを通常のウィンドウで立ち上げるには、次のようにします。

1 アプリケーションのショートカットを右クリックし、[プロパティ]を選択する。

2 [ショートカット]タブをクリックし、[実行時の大きさ]で[通常のウィンドウ]を選択する。



A アプリケーションを削除して再インストールします。

A HDD の空き容量を増やします。

Q アプリケーションのインストール時、バージョン競合のメッセージが表示された

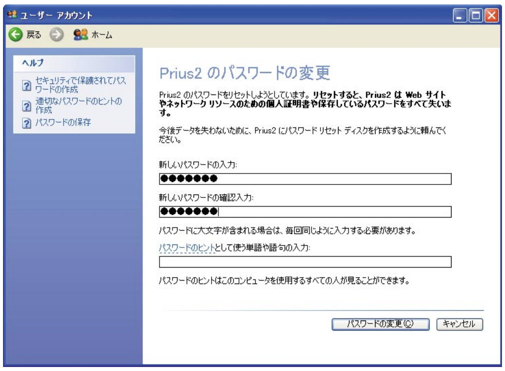
A 通常は、[はい]ボタンをクリックして新しいファイルを使用します。アプリケーションによって個別に指示がある場合は、その指示に従います。

Q Windowsのパスワードを忘れてしまった

A ログオン時に[?]ボタンをクリックし、パスワードのヒントを表示させて、パスワードを思い出します。

A 管理者アカウントを持つユーザーに、自分のパスワードを変更してもらいます。

1. 管理者アカウントを持つユーザーでログインする。
2. [スタート]ボタン−[コントロールパネル]を選択し、[ユーザーアカウント]アイコンをダブルクリックする。
3. パスワードを忘れてしまったユーザーのアイコンをクリックする。
4. [パスワードを変更する]をクリックし、新しいパスワードを設定する。



5. 自分のユーザー名と新しいパスワードでログオンし直す。

Q コマンドプロンプト画面が全画面表示になってしまった

A [Alt]キーを押したまま[Enter]キーを押します。

Q 時計が遅れる、または進む

A Windowsでは、時計に少しずつ遅れや進みが生じます。目立つときは、[日付と時刻のプロパティ]で変更します。この操作は、コンピューターの管理者しか行えません。

参照 『パソコン入門』の「2.ウィンドウズとデスクトップを使おう」「タスクバーを使う」

A パソコンのリチウム電池が消耗すると、パソコンの時計が遅れたり、BIOSメニューの設定が正しく表示されなくなります。また、「CMOS Checksum Error」が繰り返し表示されます。このようなときは、リチウム電池を交換してください。リチウム電池の寿命は約5年です。使用方法によっては1年未満のこともあります。交換する場合は安心コールセンタまでご連絡ください。お客様自身では交換できません。なお、リチウム電池を取り外すとメモリーに入っているBIOSメニューで設定した情報が消えます。設定内容はあらかじめ控えておいてください。

参照 お問い合わせ先について→2章の「お問い合わせ情報」

A LAN経由でインターネットに接続している場合、またはLANのタイムサーバーをお使いの場合は、時計精度がマニュアルに記載されている誤差よりも大きくなることがあります。お客様のご使用状況に合わせて、次のように対応ください。

・ファイアーウォールの設定により、インターネットタイムサーバーと同期がとれていない場合があります。システム管理者にご確認ください。

・タイムサーバーをお使いの場合は、[コントロールパネル]－[日付、時刻、地域と言語のオプション]で、タイムサーバーを変更してください。

参照 タイムサーバーの設定方法→『ヘルプとサポート』の「インターネット時刻」

A インターネットに接続していない場合は、弊社にお問い合わせください。

デスクトップの表示がおかしい

Q おかしな文字が表示される

A Windowsやアプリケーションを正しくインストールします。各ソフトに付属のマニュアルやヘルプを参照して、設定や制限事項などを確認します。

A 文字が英文フォントに設定されている場合、おかしな文字を選択し、日本語のフォントに変更します。

A [コマンドプロンプト]画面の場合、表示が日本語モード、英語モードのどちらに設定されているか確認します。

参照 ホームページの文字化けについて→1章の「ホームページが文字化けする」

Q タスクバーが表示されない

A [タスクバーを固定する]の設定が解除されおり、かつ、画面の端に隠れるほどタスクバーの幅を細くしています。画面の下端などにマウスを動かし、マウスポインターが矢印に変わったら、そのままドラッグしてタスクバーの幅を広げます。

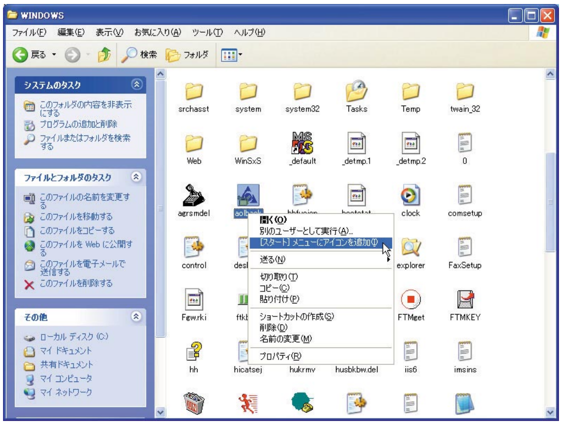
A タスクバーの設定を変えています。[スタート]ボタン－[コントロールパネル]を選択し、[タスクバーと[スタート]メニュー]をダブルクリックしてプロパティーを開いて、[タスクバー]タブの[タスクバーを自動的に隠す]のチェックを消してください。

Q アプリケーションが[スタート]メニューにない

A アプリケーションを[スタート]メニューに登録します。

1 エクスプローラまたはマイコンピュータから、登録したいアプリケーションのアイコンを表示させる。ファイルが表示されない場合は[このフォルダの内容を表示する]をクリックする。

2 アプリケーションアイコンを右クリックし、[[スタート]メニューにアイコンを追加]を選択する。



Q [すべてのプログラム]メニューがいっぱいになって、選択しにくい

A [すべてのプログラム]メニューを整理します。

1 [スタート]ボタン－[すべてのプログラム]を選択し、移動するメニューをポイントし、メニューを移動する位置までドラッグ&ドロップする。

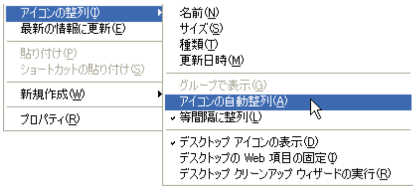
A よく使うアプリケーションは、わくわくナビに登録します。

参照 登録方法→『パソコン入門』の「便利なホームページを開こう」「自分用に「わくわくナビ」を変える」

Q デスクトップがアイコンで乱雑になった

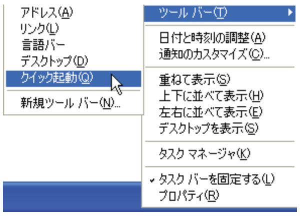
A アイコンを自動整列します。

1 デスクトップでアイコンのないところを右クリックし、[アイコンの整列]－[アイコンの自動整列]を選択する。



A アプリケーションのショートカットをクイック起動バーから立ち上げられるようにします。

1 タスクバーの何も表示されていないところを右クリックし、[ツールバー]－[クイック起動]を選択する。



2 アプリケーションのアイコンを、[クイック起動]バーにドラッグ&ドロップする。ここをクリックして現われるメニューから、アプリケーションを立ち上げられるようになる。[クイック起動]バーにアプリケーションのアイコンが表示されていないときは、右端の[>>]をクリックする。



A 不要なアイコンを削除します。

1 削除するアイコンを右クリックし、[削除]を選択し、[はい]ボタンをクリックする。

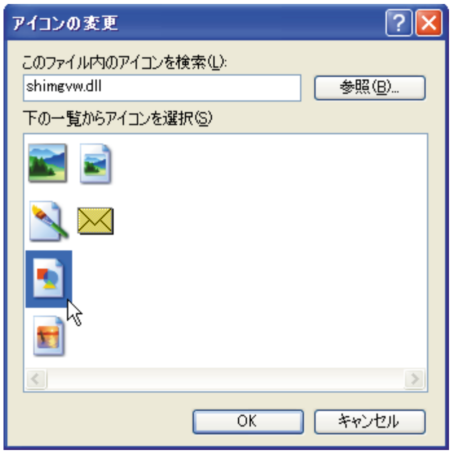
Q アイコンの絵柄が変わってしまった

A フォルダーオプションでアイコンの絵柄を変更します。

1 [スタート]ボタン－[マイコンピュータ]を選択し、[ツール]－[フォルダオプション]を選択する。

2 [ファイルの種類]タブをクリックし、アイコンの絵柄を変更するファイルタイプを選択し、[詳細設定]ボタンをクリックする。

3 [アイコンの変更]ボタンをクリックし、アイコンを選択し、[OK]ボタンをクリックする。



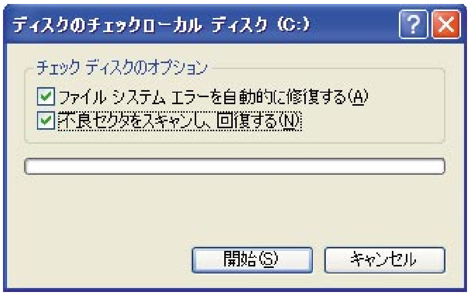
A チェックディスクツールを実行し、HDDを修復します。

1 [スタート]ボタン－[マイコンピュータ]を選択する。

2 [ローカルディスク(C:)]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックする。

3 [ツール]タブをクリックし、[エラーチェック]の[チェックする]ボタンをクリックする。

4 [ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]をチェックし、[開始]ボタンをクリックする。チェックディスクツールが開始され、終了すると結果レポートが表示される。



5 [OK]ボタンをクリックする。

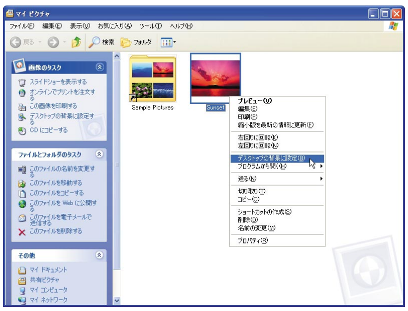
Q デスクトップの背景を変えたい

A デスクトップの背景を変えます。

参照 デスクトップの背景について→『パソコン入門』の「2．ウィンドウとデスクトップを使おう」「デスクトップを好みの背景に変える」

1 自分で描いた画像や写真などを使う場合は、bmp、gif、またはjpg形式にして、C:WINDOWSまたはC:\Documents and Setting\(ユーザー名)\My Documents\My Picturesにコピーしておく。フォルダーが表示されないときは、「このフォルダの内容を表示する」をクリックする。

2 背景にしたい画像ファイルのアイコンを右クリックし、[デスクトップの背景に設定]を選択する。

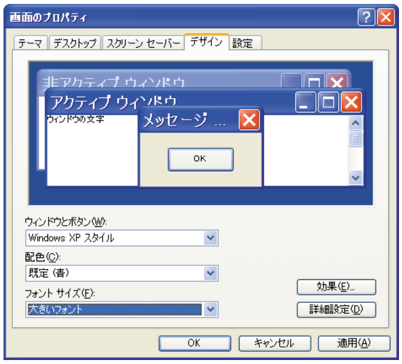


Q 画面の文字が小さい

A 画面に表示するフォントサイズを大きくします。

1 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ]を選択し、[画面のプロパティ]を開く。

2 [デザイン]タブをクリックし、[フォントサイズ]で[大きいフォント]を選択する。



3 [OK]ボタンをクリックする。

A 画面の解像度を下げます。

1 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ]を選択する。

2 [設定]タブをクリックし、[画面の解像度]で「小」側に移動する。



Q 動画の再生が終わっても、画像が残ったままになる

A 再生するアプリケーションによっては、再生を停止しても画面が残ったままになることがあります。このときは、別のウィンドウを最大化するなど画面の切り替えを行います。なお、Media Playerなどで動画ファイルを再生しているときは、コマンドプロンプトを起動してからWindows側に切り替えたり、コマンドプロンプトのウィンドウを最大化してから終了しないでください。これらの操作を行うと、パソコンの動作が異常になることがあります。

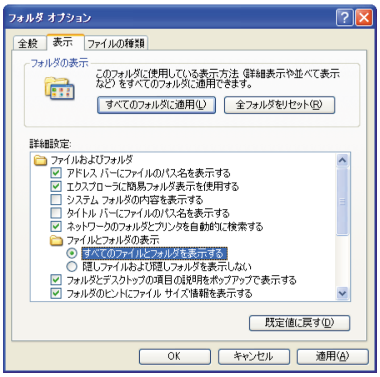
ファイルがうまく管理できない

Q エクスプローラで探しているファイルが見つからない

A 隠しファイルに設定されています。隠しファイルを見えるようにフォルダオプションの設定を変更します。

1 [スタート]ボタン−[マイコンピュータ]を選択し、[ツール]−[フォルダオプション]を選択する。

2 [表示]タブをクリックし、[詳細設定]の[ファイルとフォルダの表示]を開き、[すべてのファイルとフォルダを表示する]を選択する。



3 [OK]ボタンをクリックする。

A フォルダーの内容が非表示に設定されています。「このフォルダの内容を表示する」をクリックすると、以降はそのフォルダー内のファイルが表示されるようになります。

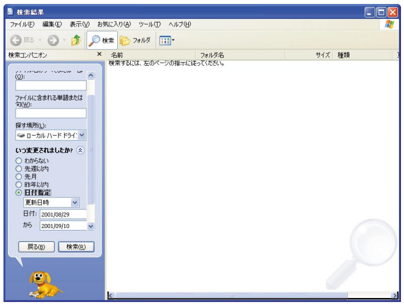
A 正しいフォルダーを選択します。

A どのフォルダーに保存したか不明のときは、ファイルを検索します。

1 [スタート]ボタン−[検索]−[ファイルとフォルダすべて]を選択する。

2 [いつ変更されましたか？]をクリックする。

3 [日付指定]を選択し、ファイルを作成した日付の範囲を指定する。ファイル名やファイルの種類がわかれば、検索条件に追加して[検索]ボタンをクリックする。



4 検索されたファイルのフォルダーを確認する。

A 新規文書を保存すると、文書を作成したアプリケーションのフォルダーに入ることがあるので、このフォルダーを確認する。

A CD/DVDドライブ内のディスク内の3階層程度下のフォルダーを開くと、正しくフォルダーが表示されない場合があります。

Q CD-ROMからコピーしたファイルを上書きできない

A ファイル属性の読み取り専用を解除します。

1. エクスプローラでファイルを右クリックし、[プロパティ]を選択する。
2. [読み取り専用]のチェックを外す。
3. [適用]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックする。
4. エクスプローラのウィンドウ右上の[×]ボタンをクリックして、エクスプローラを終了する。

通信がうまくできない

Q モデムやLANで通信ができない

A 次の手順を行います。

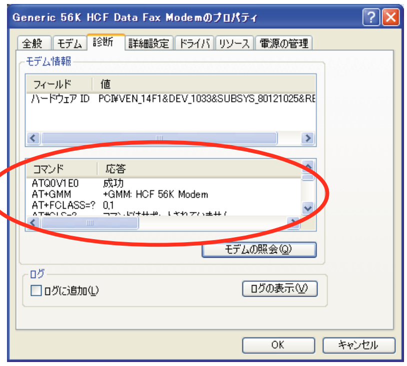
1. [スタート]ボタン－[コントロールパネル]を選択する。
2. [システム]アイコンをダブルクリックして開き、[ハードウェア]タブをクリックする。
3. [デバイスマネージャ]ボタンをクリックする。
4. モデムの場合はリストの[モデム]をダブルクリックし、モデムドライバーのプロパティーを開く。

   LANの場合はリストの[ネットワークアダプタ]をダブルクリックし、[LANドライバー]のプロパティーを開く。
5. それぞれのデバイスの状態を確認し、正常に動作していない場合は[トラブルシューティング]をクリックして、トラブルシューティングを行う。

Q モデムが通信できない

A 次の方法で通信テストを行い、エラーになった場合はドライバを再インストールします。

1. [スタート]ボタン－[コントロールパネル]を選択する。
2. [電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックして開き、[モデム]タブをクリックする。
3. モデムを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。
4. [診断]タブをクリックし、[モデムの照会]ボタンをクリックする。
5. 処理が終わったら通信テストの結果を確認する。



Q LANが通信できない(デスクトップパソコンの場合)

A パソコン背面のLANランプ(リンクランプ)の状態を確認します。

参照 リンクランプの位置と状態について
→『接続と準備』の「5. いろいろな使い方をするために」「各部の名前とはたらきを知っておこう」

インターネット使用中のトラブル

Q インターネットに接続できない

A 外付けのモデムを使用しているときは、モデムの電源が入っているかを確認します。

A 接続が混んでいる時間帯では、すぐに接続できないことがあります。しばらくしてからもう一度接続します。

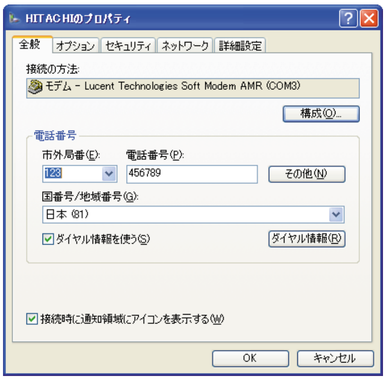
A 接続先のサーバーが停止していないかを確認します。

A 設定してある接続先の電話番号を確認します。

1 [スタート]ボタン－[コントロールパネル]を選択し、[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックする。

2 使用している接続先のアイコンを右クリックし[プロパティ]を選択する。

3 [全般]タブをクリックし、市外局番と電話番号を確認する。



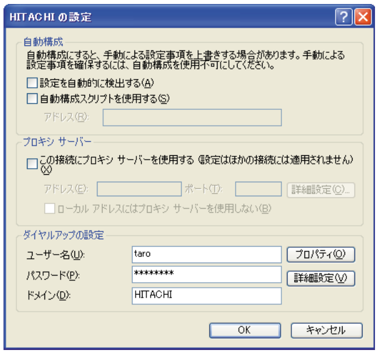
A プロバイダーに接続する場合、アクセスポイントによってはつながりにくいことがあります。この場合、アクセスポイントを変更して接続してください。

A ユーザー ID やパスワードを確認します。

1 [スタート]メニューの[インターネット]アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ]を選択する。

2 [接続]タブをクリックし、[ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定]で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定]ボタンをクリックする。

3 ユーザー名を確認し、正しいパスワードを入力する。パスワードを入力するときは小文字、大文字を確認する。

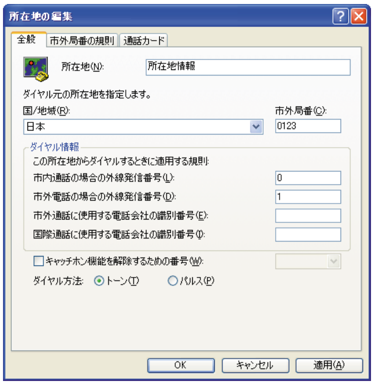


A モデムの設定が正しいかを確認します。

1 [スタート]ボタン－[コントロールパネル]を選択し、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックする。

2 [ダイヤル情報]タブをクリックし、[所在地]を選択して[編集]ボタンをクリックする。

3 [全般]タブをクリックし、国/地域、市外局番、ダイヤル情報を確認して、[OK]をクリックする。



4 [モデム]タブをクリックし、使用しているモデムが選択されているかを確認する。

5 [プロパティ]ボタンをクリックし、[XXXXのプロパティ]の[詳細]タブをクリックする。

6 [既定の設定を変更]ボタンをクリックし、[XXXX既定の変更]の[全般]タブ、[詳細]タブをクリックして、接続の形式などを確認する。



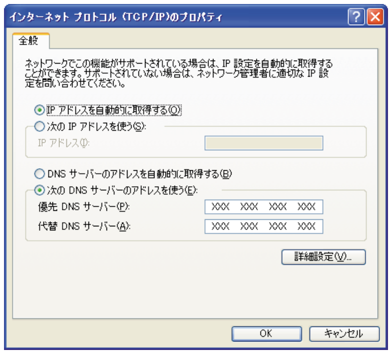
A ネームサーバーやIPアドレスなどのTCP/IPの設定を確認します。

1 [スタート]ボタン-[コントロールパネル]を選択し、[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックする。

2 使用している接続先のアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択する。

3 [ネットワーク]タブをクリックし、確認する接続を選択して[プロパティ]ボタンをクリックする。

4 IPアドレスとネームサーバーを確認する。



A パソコンに接続した電話機から影響を受けている可能性があります。パソコンに接続した電話機を外して、インターネットに接続してください。正しく接続できる場合は、市販の秘話機能付き電話自動切替機をご使用いただくことで、改善できる場合があります。

A AC電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販のAC電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除きます。

A ターミナルアダプター(以下、TA)をご使用の場合、Windows XPに対応しているTAであるかを確認します。機種によっては、Windows XPに対応していないことがあります。

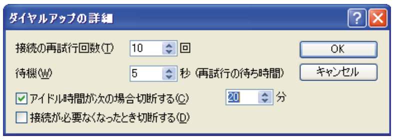
A ADSLモデムなどの電源が入っているか確認します。

A モデムや通信機器の各ケーブルが、正しく接続されているか確認します。

Q 接続中に突然回線が切れる

A データを送受信していない状態が一定の時間以上続くと、自動的に回線が切れます。通信していない時間を長くするときは、次のようにします。

1. [スタート]メニューの[インターネット]アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ]を選択する。
2. [接続]タブをクリックし、[ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定]で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定]ボタンをクリックする。
3. [詳細設定]ボタンをクリックする。
4. [アイドル時間が次の場合切断する]をチェックして、アイドル時間を長くする。



A キャッチホンがかかると、通信が切れます。キャッチホンIIに切り替えると解消します。

A 接続先のサーバーがダウンした可能性があります。サーバーが回復するのを待って、もう一度接続します。

A Outlook の使用時では、[手動の送受信が終了したら切断する]を、Outlook Express の使用時では、[送受信が終了したら切断する]をチェックしていると、メールの送受信後自動的に回線が切れます。

A 回線にノイズが発生しました。しばらく待って、もう一度接続します。

A パソコンがシステムスタンバイの状態になっています。システムスタンバイをオフにします。

A モデムケーブルの接続を確認し、接続が正しくない場合は、パソコンの電源を切ってから接続し直します。

Q 接続中にパソコンの電源を切ってしまった

A 電話回線は強制的に切断されます。ダウンロード中のファイルがある場合は、正常に保存されないことがあります。

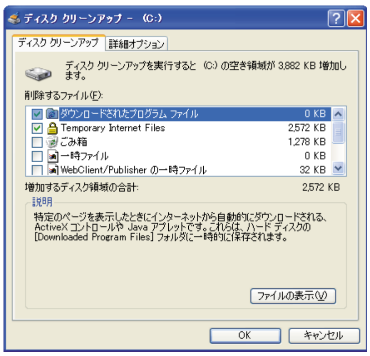
Q ホームページが開かない

A URL の入力が正しいか確認します。

A 指定した URL のホームページがなくなっています。

A HDD の空き容量が不足しています。ディスククリーンアップの実行、不要なデータの削除などで HDD の空き容量を増やします。

1. [スタート]ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システムツール]－[ディスク クリーンアップ]を選択する。状態のチェックを行い[ディスク クリーンアップ]が表示される。
2. [ディスク クリーンアップ]タブをクリックする。削除するファイルにチェックを付け、[OK]ボタンをクリックする。確認のメッセージで[はい]ボタンをクリックする。



A 指定した URL のホームページは、インターネットエクスプローラで設定したセキュリティーのレベルの範囲外です。次の手順を行って、セキュリティーレベルを調整します。

1 [スタート]メニューの[インターネット]アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ]を選択する。

2 [セキュリティ]タブをクリックし、[Webコンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する]で、[インターネット]が選択されていることを確認する。

3 [レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックする。

4 [カスタム設定のリセット]の[リセット]でレベルを選択し、[リセット]ボタンをクリックする。

5 「このゾーンに設定されいるセキュリティのレベルを変更しますか?」という警告が表示される。[はい]をクリックする。

6 [OK]ボタンを2回クリックする。

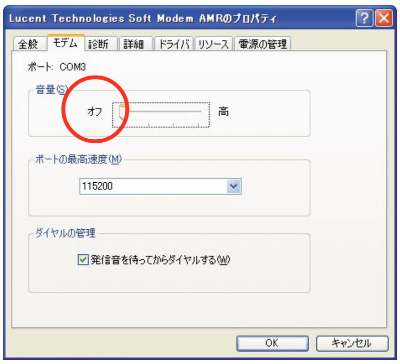
Q モデムの発信音がうるさい

A モデムの発信音を消します。

1 [スタート]ボタン-[コントロールパネル]を選択し、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックする。

2 [モデム]タブをクリックし、使用するモデムが選択されていることを確認し、[プロパティ]ボタンをクリックする。

3 [モデム]タブをクリックし、[音量]のスライダーを[オフ]にする。



4 [OK]ボタンを2回クリックして終了する。

ヒント 再び音を出す場合は、手順3で[音量]のスライダーを右に移動してください。

Q Phone端子に接続した機器(FAXなど)から通信音が出る

A インターネットなどパソコンの通信中は、Phone 端子からも通信音が出力されます。Phone 端子に接続している機器の設定を変更するか、Phone 端子に接続せずに、市販の秘話機能付分配アダプター(自動切換器)を使用すると改善される場合があります。接続している機器の設定変更については、接続している機器に添付のマニュアルをご参照ください。

Q 転送スピードが遅い

A サーバーが混んでいます。

A パソコンに接続した通信機器から影響を受けている可能性があります。パソコンに接続した通信機器を外して、インターネットに接続してください。正しく接続できる場合は、市販の秘話機能付き電話自動切替機をご使用いただくことで、改善できる場合があります。

A AC電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販のAC電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除きます。

インターネットブラウザーのトラブル

Q 「お気に入り」が増えすぎた

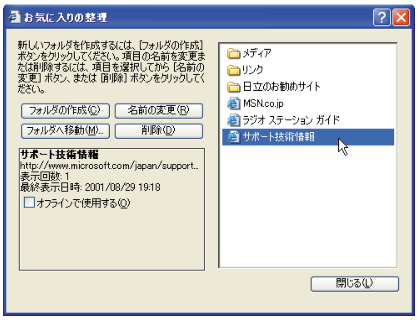
A フォルダーを作成してお気に入りのページをフォルダーに移動します。

参照 お気に入りの整理について→『始めよう！インターネット』2 章の「[お気に入り]を整理する」

A お気に入りのページを削除します。

1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[お気に入り]－[お気に入りの整理]を選択する。

2 削除するホームページを選択し、[削除]ボタンをクリックし、[はい]ボタンをクリックする。



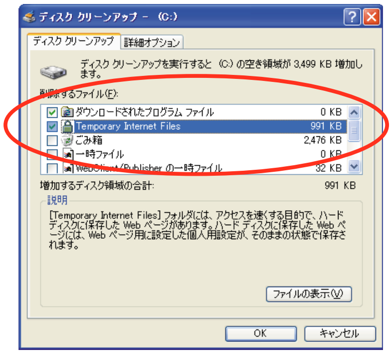
Q 開いたホームページが更新されていない

A 立ち上げ直したあと、HDD のクリーンアップを実行して一時ファイルを削除します。

1 [スタート]ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システムツール]－[ディスク　クリーンアップ]を選択する。状態のチェックを行い、[ディスク　クリーンアップ]が表示される。

2 [ディスク　クリーンアップ]タブをクリックする。削除するファイルにチェックを付け、[OK]ボタンをクリックする。

確認のメッセージで[はい]ボタンをクリックする。

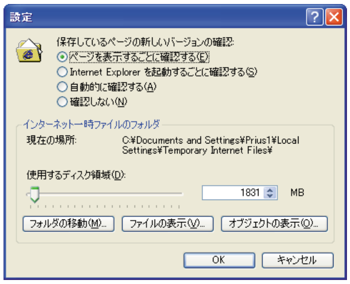


A キャッシュに保存されている一時ファイルを更新するように設定を変更します。

1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[ツール]－[インターネットオプション]を選択する。

2 [全般]タブをクリックし、[インターネット一時ファイル]の[設定]ボタンをクリックする。

3 [保存しているページの新しいバージョンの確認]で[ページを表示するごとに確認する]、[Internet Explorerを起動するごとに確認する]、[自動的に確認する]のいずれかを選択する。



A 一時ファイルを削除します。

1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[ツール]－[インターネットオプション]を選択する。

2 [全般]タブをクリックし、[インターネット一時ファイル]の[ファイルの削除]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックする。

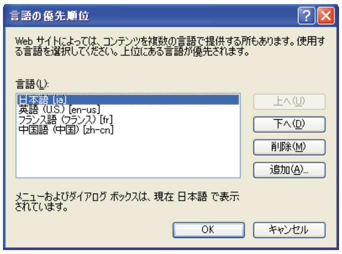
Q ホームページが文字化けする

A 表示している文字の種類を日本語に変更します。

1. インターネットエクスプローラで、[表示]－[エンコード]－[日本語(シフトJIS)]または[日本語(自動選択)]、[日本語(EUC)]を選択する。

A 日本語を優先して表示する設定に変更します。

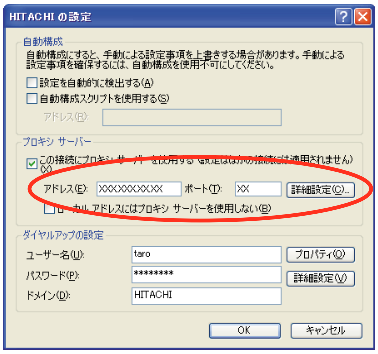
1. インターネットエクスプローラで、[ツール]－[インターネットオプション]を選択する。
2. [全般]タブをクリックし、[言語]ボタンをクリックする。
3. [日本語[ja]]を選択し、[上へ]ボタンをクリックし、一番上に移動する。[日本語[ja]]がないときは、[追加]ボタンをクリックし、[日本語[ja]]を選択し[OK]ボタンをクリックする。



Q ホームページの表示が遅い

A プロキシサーバーを利用します。

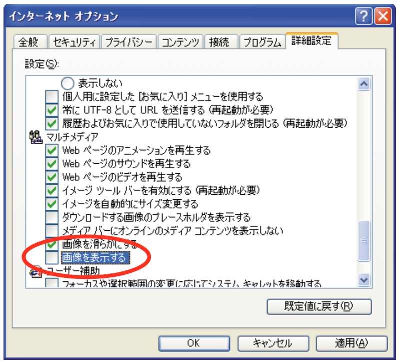
1. [スタート]メニューの[インターネット]アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ]を選択する。
2. [接続]タブをクリックし、使用しているダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定]ボタンをクリックする。
3. [この接続にプロキシサーバーを使用する]をチェックし、アドレスとポートを入力する。



ヒント アドレスとポートはプロバイダーにお問い合わせください。

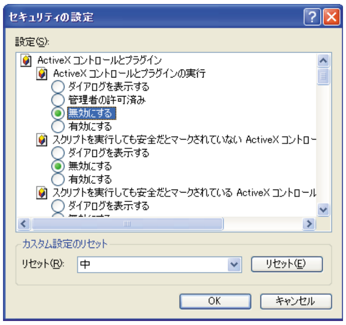
A 画像の表示をやめます。

1. インターネットエクスプローラを立ち上げ、[ツール]－[インターネットオプション]を選択する。
2. [詳細設定]タブをクリックし、「マルチメディア」の[画像を表示する]のチェックを外す。



A ActiveXを無効にします。

1. インターネットエクスプローラを立ち上げ、[ツール]－[インターネットオプション]を選択する。
2. [セキュリティ]タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックする。
3. 「ActiveXコントロールとプラグインの実行」の[無効にする]を選択する。



A パソコンに接続した電話機から影響を受けている可能性があります。パソコンに接続した電話機を外して、インターネットに接続してください。正しく接続できる場合は、市販の秘話機能付き電話自動切替機をご使用いただくことで、改善できる場合があります。

A AC電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販のAC電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除きます。

Q ホームページがいつ更新されたかいちいち調べるのは大変

A ホームページの内容が更新された通知をメールで受け取ることができます。ホームページをお気に入りに追加し、更新通知を送信するように設定します。

1 インターネットに接続し、更新された通知を送信させるホームページを表示する。

2 [お気に入り]－[お気に入りに追加]を選択し、フォルダーを選択して[OK]ボタンをクリックする。

3 [お気に入り]－[お気に入りの整理]を選択する。

4 更新通知を送信させるホームページを選択し、[オフラインで使用する]をチェックする。
[プロパティ]ボタンが表示される。

5 [プロパティ]ボタンをクリックする。
[XXXのプロパティ]が表示される。

6 [ダウンロード]タブをクリックする。

7 [このページが変更された場合、電子メールを送信する]をチェックし、電子メールアドレスと電子メールサーバー名を入力し、[OK]ボタンをクリックする。



8 [閉じる]ボタンをクリックする。インターネットに接続し、同期化される。

Q インターネットの画像がART形式でしか保存できない

A AOLに加入している場合、AOL専用ブラウザーでは自動的にART形式が選択されます。ART形式以外に、bmp形式を選ぶこともできます。JPEG形式で保存したい場合は、ART形式からJPEG形式に変換するソフトを使用します。詳しくはAOLにお問い合わせください。

参照 お問い合わせ先について→2章の「お問い合わせ情報」

メールの送受信がうまくいかない

Q メールの送受信ができない

A ［送受信］ボタンを数回押します。

A サーバーが停止していないかを確認します。

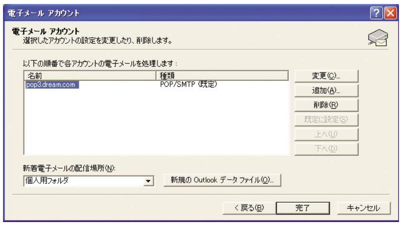
A 受信メール（POP3）サーバー、送信メール（SMTP）サーバー、アカウント名、パスワードが正しいか確認します。

［Outlook の場合］

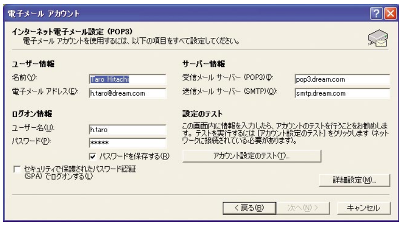
1 Outlookを立ち上げ、［ツール］－［電子メールアカウント］を選択する。

2 ［既存の電子メール アカウントの表示と変更］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする。

3 メールのアカウントから、使用するアカウントを選択し、［変更］ボタンをクリックする。



4 ［サーバー情報］に正しい受信メールサーバー（POP3）、送信メールサーバー（SMTP）、ログイン名、パスワードを入力し、［次へ］ボタンをクリックする。



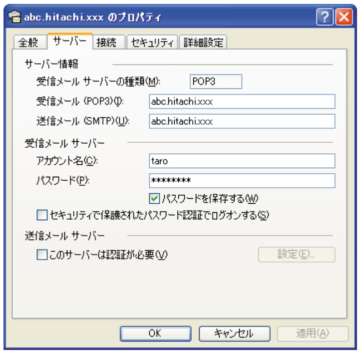
5 ［電子メールアカウント］ダイアログボックスで、［完了］ボタンをクリックする。

［Outlook Express の場合］

1 Outlook Expressを立ち上げ、［ツール］－［アカウント］を選択する。

2 ［メール］タブをクリックし、使用するアカウントが選択されていることを確認し、［プロパティ］ボタンをクリックする。

3 ［サーバー］タブをクリックし、正しい受信メール（POP3）サーバー、送信メール（SMTP）サーバー、アカウント名、パスワードを入力する。



Q 送信したメールが相手に届いていない

A 宛先のメールアドレスが正しいかを確認します。

A メールサーバーが停止していないかを確認します。

A 添付されているデータのサイズが大きすぎ、メールサーバーで受信できる範囲を超えています。添付したデータのサイズを小さくしてもう一度送信します。

Q 受信したメールが文字化けしている

A 表示するフォントを日本語にします。

1 Outlook Expressで、［表示］－［エンコード］－［日本語（自動選択）］を選択する。

A 添付データの送信形式を送信相手にし、MIMEの「Base 64形式」または「なし」で送信するように依頼します。

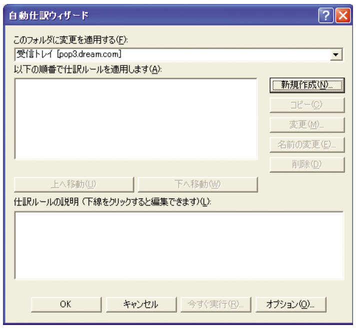
Q 受信メールをいちいち手作業で分類するのは手間がかかる

A 受信メールを自動的に振り分けることができます。ここでは、指定した送信者からのメールを自動的に振り分ける場合を例に説明します。

[Outlookの場合]

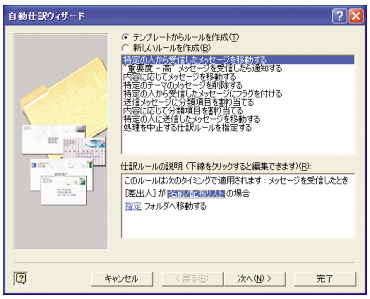
1 [ツール]－[自動仕訳ウィザード]をクリックする。

2 [新規作成]ボタンをクリックする。



3 [テンプレートからルールを作成]－[ルール]を選択する。

4 [特定の人から受信したメッセージを移動する]を選択し、[仕訳ルールの説明]で、下線部分の[名前/配布リスト]をクリックする。



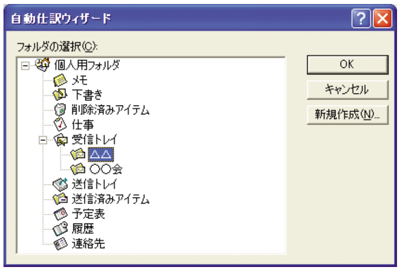
5 [名前]から特定のユーザーを選択し、[差出人]ボタンをクリックする。

6 該当するユーザーをすべて[差出人のアドレス指定]に移動して、[OK]ボタンをクリックする。

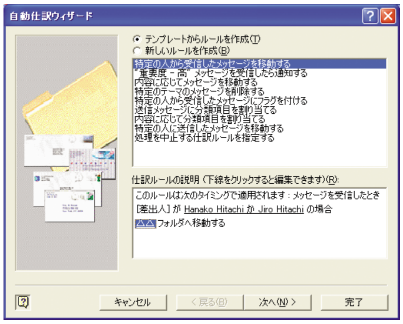


7 [仕訳ルールの説明]で、下線部分の[指定]をクリックする。

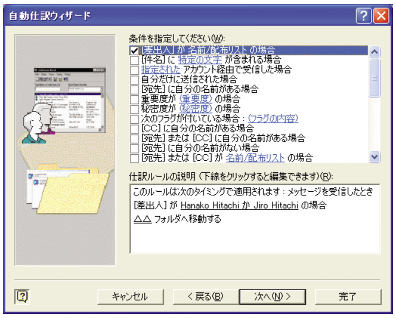
8 フォルダーの選択画面で移動先フォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックする。



9 [仕訳ルールの説明]で、下線部分が指定した内容になっていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックする。



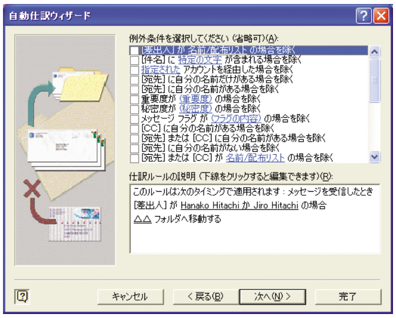
10 [条件を指定してください]欄から、該当する条件のチェックボックスにチェックし、[次へ]ボタンをクリックする。



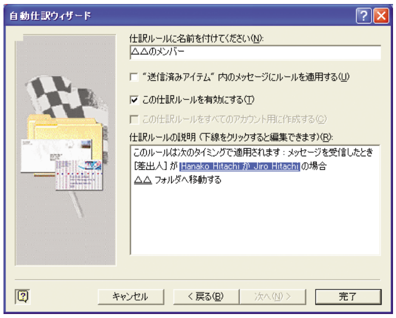
11[メッセージに対する処理を選択してください]欄から、該当する条件のチェックボックスにチェックし、[次へ]ボタンをクリックする。



12[例外条件を選択してください]欄から、該当する条件のチェックボックスにチェックし、[次へ]ボタンをクリックする。例外条件がない場合は、チェックボックスにチェックを付けずに[次へ]ボタンをクリックする。



13[仕訳ルールに名前を付けてください]に名前を入力し、[完了]ボタンをクリックする。



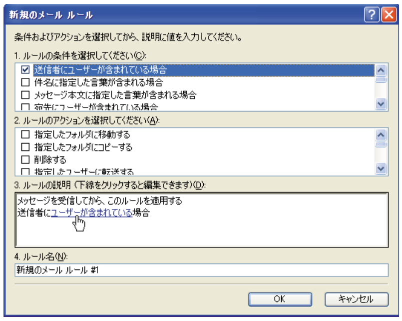
14自動仕訳ウィザードで、[OK]ボタンをクリックする。

[Outlook Express の場合]

1 [ツール]－[メッセージルール]－[メール]を選択する。

2 [1.ルールの条件を選択してください]で[送信者にユーザーが含まれている場合]をチェックする。

3 [3.ルールの説明(下線をクリックすると編集できます)]の「送信者にユーザーが含まれている場合」をクリックする。



4 [アドレス帳]ボタンをクリックし、送信者を選択して[送信者]ボタンをクリックし、[ルールのアドレス]に表示する。ほかの送信者も選択する場合は、同様にする。[OK]ボタンを2回クリックし、[新規のメールルール]に戻る。



5 [2.ルールのアクションを選択してください]の[指定したフォルダに移動する]をチェックし、[3.ルールの説明(下線をクリックすると編集できます)]の「指定したフォルダ」をクリックする。

6 [アイテムの移動先]で受信メールを移動するフォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックする。

7 [4.ルール名]に分類する名称を入力し、[OK]ボタンを2回クリックする。

一括セットアップできない

Q 「再セットアップDVD」をドライブに入れてパソコンを立ち上げてもメニューが表示されない

A ご購入後に増設した機器を取り外してから、一括セットアップを行います。DVDドライブに「再セットアップDVD」を入れます。

電子マニュアルの操作で困った!

Q 電子マニュアルが立ち上がらない

A 『活用百科』CDの[install]フォルダーの中の[ar505jpn.exe]をダブルクリックし、Acrobat Readerをインストールします。

Q 画像が表示されず、グレーのボックスになる

A Acrobat Readerの[ファイル]-[環境設定]-[一般]をクリックし、[データ量の多い画像を表示]にチェックを付けます。

Q Acrobat Readerがインストールできない

A ご使用中のソフトウェアによっては、インストールできないことがあります。この場合は、そのソフトウェアをアンインストールしてからAcrobat Readerをインストールします。そのあとで、アンインストールしたソフトウェアをインストールし直します。ソフトウェアをアンインストールしても「\Windows\Temp」フォルダーに一部のファイルが残ることがあります。このときは、「Temp」フォルダー内のファイルを削除します。

ソフトウェアのトラブル

Q 動画がメディアプレイヤーで再生できない

A 動画のファイル形式が avi の場合、ファイルの入手先によっては専用コーデックを使用していることがあります。コーデックを同時に入手し、インストールしてください。

A DVD ビデオタイトルを再生する場合は、専用 DVD プレーヤーソフトで再生してください。

Q AntiVirusがうまく動作しない

A 複数のウイルス対策ソフトを併用すると、OS が誤動作することがあります。AntiVirus以外のウイルス対策ソフトは、すべてアンインストールしてください。

Q 「Office XP」で新規ファイルの作成や更新などができなくなってしまった

A 「Office XP」をセットアップし直した場合は、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行わず、許容起動回数に達すると、新規ファイルの作成や更新など一部の機能が使えなくなります。ライセンス認証の方法については、「Office XP」の『セットアップガイド』をご参照ください。

ソフトウェアをもっと使いこなしたい

Q ソフトウェアの便利な使い方を知りたい

A 電子マニュアル『パソコンヒント集』に、ソフトウェアのいろいろな使い方を、次の内容ごとにまとめています。電子マニュアルをセットアップして、ご参照ください。

- Windows
- ユーティリティー
- インターネット
- メール

参照 電子マニュアルのセットアップ方法
→『パソコン入門』「1. パソコンを始めよう」の「電子マニュアルを使う」

A CyberSupport を使うと、パソコンについて知りたいことを、ヘルプやマニュアルの中から探し出せます。

A インストールされている「Priusで楽しもう!」に、ソフトウェアのいろいろな使い方を、使い方ごとにまとめています。ご参照ください。

Q BIOSをアップデートしたい

A PriusWorldサポートページでご使用の機種に BIOS のアップデートが必要であるか確認してください。アップデートが必要な場合は、PriusWorld サポートページで BIOS のアップデート方法を参照し、アップデートを実行してください。

データのバックアップ

Q メールのデータをバックアップしたい

A 電子マニュアル『始めよう！インターネット』に、バックアップ手順をまとめています。電子マニュアルをセットアップして、ご参照ください。

参照 Outlookデータのバックアップ方法→『始めよう！インターネット』3章の「Outlookのデータをバックアップする」
Outlook Expressデータのバックアップ方法→『始めよう！インターネット』3章の「Outlook Expressのデータをバックアップする」

Q 各種アプリケーションのデータをバックアップしたい

A 各種アプリケーションで作成したファイルのバックアップは、次の手順で行います。

1. 必要なファイルを作成しているアプリケーションを起動する。
2. メニューの一覧から、[ファイル]メニューをクリックし、[名前を付けて保存]をクリックする。
3. [保存先]ボックスに表示されている場所を確認する。
4. [保存先]ボックスで、バックアップを取りたいファイルが保存されているフォルダーを指定する。
   そのファイルに保存されているファイルの一覧が表示される。
5. 必要なファイルのアイコンを右クリックしたあと、[送る]をクリックし、リムーバブルメディアを指定する。

   これでファイルのバックアップを取ることができます。

Q エクスプローラを使ってデータをバックアップしたい

A エクスプローラを使ったファイルのバックアップは、次の手順で行います。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]をクリックする。
2. [アクセサリ]をクリックし、[エクスプローラ]をクリックして開く。
3. [フォルダ]ツールバーの中から、リムーバブルメディアへ保存するフォルダーやファイルを選択する。

   必要なファイルを複数選択する場合、[Ctrl]キーを押しながら必要なファイルやフォルダーを選択する。
4. [編集]メニューをクリックし、[コピー]をクリックする。
5. [フォルダ]ツールバーの中から、保存先のリムーバブルメディアをクリックする。
6. [編集]メニューをクリックし、[貼り付け]をクリックする。

   これでファイルのバックアップを取ることができます。

2章

サービス＆サポート

この章では、

アプリケーションなどのお問い合わせ先や、

サービス、アフターケアについて紹介しています。

お問い合わせ情報

増設の周辺機器については、各機器の販売元や開発元へお問い合わせください。

◆ Microsoft Office XP Personal(Word、Excel、Outlook、Bookshelf Basic)、Outlook Plus!

マイクロソフト株式会社
スタンダードサポート
受付時間:9:30～12:00、13:00～19:00(土日、祝日、年末年始を除く)
電話:03-5354-4500、06-6347-4400

◆ PriusAir View、Prius Navistation2、わくわくナビ、メール着信設定、Priusデカ文字ツール、Priusで楽しもう、PriusサウンドREC、Prius四字熟語、Prius一文字、Prius筆算、自動ログオン設定プログラム、WinDVD4 for HITACHI、Acrobat Reader、CyberSupport for HITACHI

安心コールセンタ

◆ MediaStage LE、DVD-MovieAlbumSE

松下電器産業株式会社
お客様ご相談センター
受付時間:9:00～20:00
電話:0120-878-365
サポートサイトのURL:http://panasonic.jp/support/cn

◆ WinDVD Creator for HITACHI

インタービデオジャパン株式会社
InterVideo Japan Inc.ユーザーサポート
受付時間:月～金 9:30～17:00(12:00～13:30および祝祭日を除く、夏期・年末特定休業日・祝祭日を除く)
電話:03-5447-0576
FAX:03-5447-6689
URL:http://www.intervideo.co.jp/
E-Mail:support@intervideo.co.jp

◆ Drag'n Drop CD+DVD for HITACHI、安心楽々引越しパック、ノークリックバックアップAuto-Grabber

イージーシステムズジャパン株式会社
ESJカスタマーセンター
受付時間:オンラインにて24時間
オンラインサポートURL:http://www.ddcd.jp/dd3/hitachi/cd/tosupport.html
※ 17時30分まで受付分を当日回答、以降は翌営業日に回答
(回答は、土・日・祝日ならびに会社休業日を除きます)

◆ BeatJam for HITACHI (OpenMG)

株式会社ジャストシステム
ジャストシステムサポートセンター
受付時間:月～金曜日10:00～19:00、土・日・祝日10:00～17:00(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)
電話:03-5412-3980、06-6886-7160
URL:http://support.justsystem.co.jp/

◆ デジカメNinja2003 for HITACHI、ホームページNinja2003 for HITACHI、AI囲碁 for HITACHI、AI将棋 for HITACHI、AI麻雀 for HITACHI、かんたんラベル王 for HITACHI

株式会社アイフォー
(株)アイフォーユーザーサポート係
受付時間:10:00～12:00、13:00～17:00(土日、祝日、年末年始を除く)
電話:03-3369-9581
電話:03-3369-8381(かんたんラベル王 for HITACHIのみ)
FAX:03-3369-9580
FAX:03-3369-8432(かんたんラベル王 for HITACHIのみ)
E-Mail:hp-ninja@ifour.co.jp(ホームページNinja2003 for HITACHIのみ)

◆ Konicaオンラインラボ工房

コニカ株式会社
コニカオンラインラボサポートセンター
受付時間:9:00～17:00
電話:0120-201-990
E-Mail:info@konica-lab.net

◆ Norton AntiVirus

株式会社シマンテック
シマンテックテクニカルサポートセンター
受付時間:10:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
電話:03-5836-2621
FAX:03-5836-2623
URL:http://www.symantecstore.jp/oem/hitachi/
※ 上記サポートセンターをご利用いただくためには、以下のシマンテックホームページにてカスタマーIDの取得が必要です。
URL:http://www.symantecstore.jp/oem/hitachi/

◆ 筆ぐるめ Ver.10 for HITACHI

富士ソフトABC株式会社
富士ソフトABC　インフォメーションセンター
受付時間:9:30～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日を除く)
電話:03-5600-2551
FAX:03-3634-1322
E-Mail:users@fsi.co.jp

◆ らくらく家計簿ゆとりちゃん5

株式会社コーパス
カスタマーサービス係
受付時間:10:00～12:00、13:00～17:00(土日、祝日、株式会社コーパス休業日は除く)
電話:03-5275-0538(月～金曜日)
FAX:03-5275-0535(終日受付)
E-Mail:support@corpus.co.jp

◆ 駅すぱあと

株式会社ヴァル研究所
株式会社ヴァル研究所 ユーザーサポートセンター
受付時間:10:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日を除く)
電話:03-5373-3522
FAX:03-5373-3523
E-Mail:support@val.co.jp
URL:http://ekiworld.net/
※ユーザー登録されたお客様が対象となります。

◆ 時事通信社　家庭の医学　デジタル版II

株式会社時事通信社
株式会社時事通信社 出版局 デジタルコンテンツグループ
受付時間:10:00～17:00(土・日・祝日を除く)
電話:03-3591-8690
E-Mail:igaku@jiji.co.jp

◆ 世界大百科事典 第2版ライブラリリンク対応

株式会社日立システムアンドサービス
受付時間:10:00～12:00、13:00～17:00(土日、祝日、株式会社日立システムアンドサービス休業日を除く)
FAX:03-3763-0642

◆ タイピングドリーム　アフロ犬

株式会社ホロン
受付時間:10:00～17:30
電話:03-5282-3277
FAX:03-5282-5105
E-Mail:holon@holonsoft.co.jp
URL:http://www.holonsoft.co.jp

◆ ドリームネット

ドリームネット株式会社
ドリームネット・インフォメーションセンター
受付時間:10:00～18:00（土日祝日除く）
電話:0120-5656-86
FAX:03-5292-0144

◆ @nifty でインターネット

ニフティ株式会社
@nifty入会センター
受付時間:9:00～21:00(365日受付。ただし、ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります)
電話:0120-816-042
URL:http://www.nifty.com/support/madoguchi/

◆ AOL

America Online, Inc
AOLメンバーサポートセンター
受付時間:9:00～21:00(365日受付)
電話:0120-275-265（通話料無料)

◆ ASAHIネットオンラインサインアップソフト

株式会社朝日ネット
ASAHIネット事務局
受付時間:10:00～17:00(休日を除く月～金曜日)
電話:03-3569-3500
E-Mail:ap-net@asahi-net.or.jp

◆ BIGLOBE でインターネット

日本電気株式会社（NECソリューションズ)
BIGLOBEカスタマーサポートインフォメーションデスク
受付時間:9:00～22:00(365日受付)
電話:0120-86-0962(通話料無料)
携帯電話・PHS・CATV電話:03-3947-0962
URL:http://support.biglobe.ne.jp/
E-Mail:フォームをご利用ください。
http://support.biglobe.ne.jp/ask.html

◆ DION オンラインサインアッププログラム

KDDI 株式会社
KDDI カスタマーサービスセンター
受付時間:9:00 〜 21:00(土・日・祝日も受付中)
【サービス内容に関するお問い合わせ】
電話:0077-7192(無料)
【接続・設定に関するお問い合わせ】
電話:0077-7084(無料)
ADSL 各コースについては 24 時間受付中
※「フレッツ・ADSL」コースについては、お問い合わせ内容によってお答えできない場合があります。
【メールでのお問い合わせ】
メールフォーム:http://www.dion.ne.jp/cs/

◆ 日本テレコム ODN スターターキット

日本テレコム株式会社
ODN サポートセンター
受付時間:9:00 〜 18:00 (365 日受付)
電話:0088-86(ODN サービス案内、無料)、0088-85(ODN 接続サポート、無料)
FAX:0088-218-586(24 時間自動着信、無料)
E-Mail:odn-support@odn.ad.jp (サービス案内)、
tech-support@odn.ad.jp (接続サポート)
ADSL に関するお問い合わせ:
ODN サポートセンター ADSL 担当デスク
受付時間:9:00 〜 18:00(365 日受付)
電話:0088-222-375(サービス案内、無料)、0088-228-325(接続サポート、無料)、03-5606-5676 (サービス案内、有料)、03-3640-6461 (接続サポート、有料)
E-Mail:info-adsl@odn.ad.jp

◆ So-net 簡単スターター

ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社
So-net インフォメーションデスク
受付時間:9:00 〜 21:00 (365 日受付)
電話:0570-00-1414 (全国一律どこからかけても 8.5 円 / 3 分)
FAX:03-3446-7557
E-Mail:info@so-net.ne.jp

※マニュアル制作時点のものです。
※インストールされているアプリケーションは、機種によって異なります。

● パソコンの廃棄についてのお問い合わせ

弊社では、事業系(法人)のお客様が廃棄するパソコンの回収リサイクルサービスを行っています。
詳細については、日立リサイクルホットラインにお問い合わせください。

■日立リサイクルホットライン(＊電話での対応は国内に限らせていただきます。)

TEL：0120-12-5006(フリーダイヤル、携帯電話、PHS からは不可)
046-292-2560
受付時間：月曜日〜金曜日 9:30 〜 17:00(土・日・祝日、および弊社休業日を除く)
メールアドレス：kankyo@ebina.hitachi.co.jp
ホームページアドレス：http://www.hitachi.co.jp/pc-recycle

ユーザー登録について

パソコン購入後は、すぐにユーザー登録を行うことをお勧めします。次に示すいずれかの方法で行ってください。

Webによる登録

すでにインターネットの接続環境が整備されている場合は、Webによる登録をお勧めします。ここでは、新規に登録するときの手順を説明しています。次の手順で行ってください。

1 **デスクトップにある[わくわくナビ]アイコンをダブルクリック。**
[わくわくナビ]画面が表示されます。

2 **メニューの表示のみで左側のアイテムが表示されてないときは、画面切り替えボタン[◀]をクリック。**
画面が切り替わります。



3 **ユーザーボタンから[Prius情報]を選択。**

画面が切り替わります。

4 **[サポートページ]ボタンをクリックし、[ユーザー登録]をクリック。**

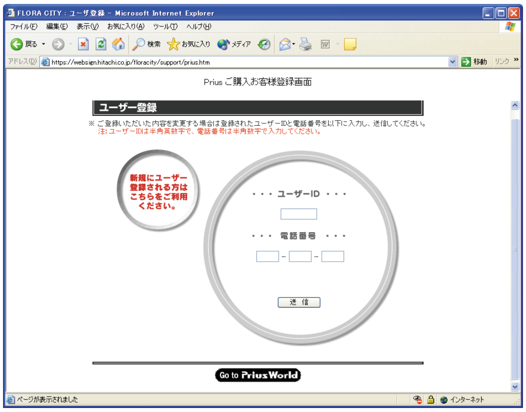


[セキュリティーの警告]が表示されます。

2
サービス&サポート

5 [OK]をクリック。

「ユーザー登録」のページが表示されます。



6 画面に従い登録を行う。

ハガキによる登録

Webによる登録ができない場合は、添付のハガキによる登録を行います。所定の欄に、必要事項を正確に記入したあと、投函してください。

訪問レスキュー解決隊（有料サービス）

お客様のお悩みを解決する、有料サポートメニューを用意しました。
「訪問レスキュー解決隊」がお客様宅を訪問し、快適なパソコンライフをお手伝いします。
ニーズに合わせて、３コースからお選びください。
詳しいサービス内容･料金などは、「安心コールセンタ」にお問い合わせください。

「インターネットやＥメールを楽しみたい」
→『らくらくインターネットパック』

【サポートメニュー】

・プロバイダー契約
・ホームページの見方
・Eメールの設定と使い方

＊あらかじめプロバイダーとの契約が必要です。未契約の場合は、弊社推奨のプロバイダーになります。
＊モデムが取付け済みのパソコンが対象です。
＊パソコン設置場所近くに電源･電話回線がある場合に限ります。ない場合は、別途工事となります。
＊ISDN回線使用の場合は、別途TA設定料金がかかります。
＊xDSL、CATV回線接続の場合は、別途ネットワーク設定料金がかかります。

「まず、基本操作を覚えたい」
→『かんたんパソコンパック』

【サポートメニュー】

・パソコンの設置・設定
　　プリンターの接続設定を含みます
・Windowsの基本操作
　　電源の入／切、マウス・キーボードの使い方、文字入力・変換、データの保存

「はじめてだけどいろいろ使いこなしたい」
→『おまかせ安心パック』(『らくらくインターネットパック』+『かんたんパソコンパック』)

【サポートメニュー】

・プロバイダー契約
・ホームページの見方
・Eメールの設定と使い方
　　＊あらかじめプロバイダーとの契約が必要です。未契約の場合は、弊社推奨のプロバイダーになります。
　　＊モデムが取付け済みのパソコンが対象です。
　　＊パソコン設置場所近くに電源・電話回線がある場合に限ります。ない場合は、別途工事となります。
　　＊ISDN回線使用の場合は、別途TA設定料金がかかります。
　　＊xDSL、CATV回線接続の場合は、別途ネットワーク設定料金がかかります。
・パソコンの設置・設定
　　プリンターの接続設定を含みます
・Windowsの基本操作
　　電源の入／切、マウス・キーボードの使い方、文字入力・変換、データの保存

その他のオプションメニュー

定型３コース以外にも個別のオプションメニューを用意しています。

・アプリケーションのインストール
・ハードウェアのセットアップ
　　ープリンターの接続とセットアップ
　　ースキャナー(USB対応)のセットアップ
　　ーメモリーボードの増設
　　ーデジタルカメラの接続セットアップ
　　ーCD-R/RWなど、外付けドライブ装置のセットアップ
　　ーDVD-R/DVD-RAMなど、外付けドライブ装置のセットアップ
・その他のサポート
　　ー電気工事、電話回線工事
　　ーLAN配線工事

[重 要]

●インターネットやメール設定ご希望の方は
あらかじめプロバイダーとの契約が完了しているか､弊社推奨のプロバイダーと当日契約をしていただく場合に限ります｡オンラインサインアップ(当日契約)の場合､クレジットカードが必要となる場合がありますので､あらかじめご確認をお願いいたします｡

●周辺機器の接続に関して
一般家庭用機器で､Windowsに対応している機器を対象とさせていただきます｡業務用機器､特殊機器の接続は対象外です｡

●出張サポート対応時間
日曜日･祝日を除き月曜日から土曜日の下記時間内とさせていただきます｡
午前9:00〜午後5:30まで

詳しいサービス内容、料金などは「安心コールセンタ」へお問い合わせください。

安心点検サービス(有料サービス)

パソコン点検であなたのパソコンライフを支援します。
ご自宅まで日立の技術者が出張してお客様のトラブル解決のお手伝いをいたします。

サービス	出張料	技術料
保証期間中(1年)	無償	\10,400
保証期間終了後	\5,600	\10,400

・お客様宅で修理を行うサービスではございません。
　修理が必要な場合は、修理品を工場へ引き上げさせていただきます。
・修理費用は、修理が必要な場合のみ発生します。
・消費税は別途いただきます。

2003年4月現在

Web修理状況確認

お客さまから修理でお預かりしたパソコンの修理状況が次のURLから検索できます。
URL: http://prius.hitachi.co.jp/go/support/trouble/repair/index.htm
修理ご依頼時にお申し出の「お客さまの電話番号」で検索してください。
※Prius Nシリーズ（2000年春発売）以降のパソコンに限ります。

Priusサービス&サポートWEB販売(有料サービス)

キーボードにコーヒーなどをこぼしてしまったり、ラスターパネルに子供が落書きをしてしまったり、リモコンや同梱メディアを紛失した場合は、「Prius サービス & サポート WEB 販売」をご利用ください。修理をせずに専用パーツのみ購入して、自分で早急に取り替えできます。

【サービス内容】

● Prius に同梱されている CD/DVD/ マニュアルの販売。

● Prius の専用パーツ販売。

●同梱の電子マニュアルを簡易印刷した紙マニュアルの販売。

※販売商品は自分で取り替え可能な「簡易修理部材」に限定させていただきます。HDD やドライブ、マザーボードなど、交換に専門の知識が必要な「修理部品」の販売は致しません。この場合は弊社の修理をご用命ください。

※再セットアップ DVD やアプリケーション CD/DVD のご購入にはユーザー登録 ID が必要です。

【お支払い方法】

●運送会社が商品のお届けと同時に、お客さまが代金をお支払いする方法(代引き方式)のみとなります。

● WEB 画面に表示される代金は、商品代金・送料・代引き手数料・消費税を含んだ料金です。

【販売サイト】

Prius サービス & サポート WEB 販売
URL:http://prius.hitachi.co.jp/go/sshanbai
ご注文の前に必ず販売条件をお読みください。

アフターケアについて

ここでは、このパソコンを購入されたあとに受けられるアフターケアについて説明します。

保証書について

保証書は、所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。
保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。
　詳しくは保証書をご覧ください。
　保証期間終了後の修理については、安心コールセンタにご相談ください。

参照 お問い合わせ先→本章の「お問い合わせ情報」

保守サービスについて

保守サービスをお受けになる際は、本書の修理連絡票をご確認、ご記入のうえ、安心コールセンタにご相談ください。

保守サービスの種類

■引き取り修理
安心コールセンタにご連絡ください。修理依頼品をお引取りし、修理完了後にお届けいたします。保証期間中は修理費 / 運送費とも無償ですが、保証期間終了後は、修理費 / 運送費は有償です。無償保証期間は 1 年間です。

保守サービス	保証期間中(ご購入後 1 年間)		保証期間終了後(ご購入後 1 年以降)		保守サービス内容
	修理費用	輸送費	修理費用	輸送費	
引き取り修理	無償	無償	有償	有償	「安心コールセンタ」にご連絡ください。商品をお引き取りし、修理完了後にお届け致します。

注意事項：

(1) 修理連絡票の内容等について、後日修理部署からお問い合わせをさせていただくことがございます。
(2) ハードディスク内のデータ及び設定については保証できかねますので、不測の事態に備えて修理にだされる前にお客さまでバックアップをお取りください。また増設機器及びケーブル類を外し、引き取り業者が梱包できるところまでパソコンをお運びください。
(3) 無償保証期間であっても、火災やお客さまの過失により故障した場合は、修理費用はお客さまのご負担となります。
(4) 日本国内でお客さまのパソコンが故障した場合のみ出荷時の機能・性能維持を目的とした修理をさせていただきます。

保守部品について

パソコン用保守部品の保有期間は、製造終了後 6 年です。

さくいん

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに配給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。それ以外の場合は該当ソフトウェア配給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。また、マニュアル中に出てくる各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

●Microsoft Windows XP Home Edition SP1
Microsoft、Windowsは、米国MicrosoftCorp.の米国およびその他の国における登録商標です。
●MediaStage LE
MediaStageは、松下電器産業株式会社の商標です。
Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. 2001-2003
●DVD-MovieAlbumSE
Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. 2000-2003
●WinDVD Creator for HITACHI、WinDVD4 for HITACHI
WinDVD™、WinDVD™ Creatorは、InterVideo,Incの商標です。
Copyright 2002, InterVideo, Inc. All rights reserved.
Copyright 1999, 2002, InterVideo, Inc. All rights reserved.
●Drag'n Drop CD+DVD for HITACHI
Drag'n Dropは、株式会社デジオンおよびイージーシステムズジャパン株式会社の登録商標です。
Copyright (C) 2000-2003 Easy Systems Japan Ltd. All Rights Reserved.
●安心楽々引越しパック
安心楽々は、イージーシステムズジャパン株式会社の登録商標です。
Copyright (C) 2002-2003 Easy Systems Japan Ltd. All Rights Reserved.
●ノークリックバックアップ Auto-Grabber
Auto-Grabberは、イージーシステムズジャパン株式会社の商標です。
Copyright (C) 2002-2003 Easy Systems Japan Ltd. All Rights Reserved.
●BeatJam for HITACHI (OpenMG)
BeatJamは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
OpenMG、ATRAC3、NetMDは、ソニー株式会社の商標です。
(C)2002 株式会社ジャストシステム
●デジカメNinja2003 for HITACHI、ホームページNinja2003 for HITACHI
Ninja、ホームページNinjaは、アイフォーの登録商標です。
(C) i4 CORPORATION 2003
(C) e-frontier, Inc. 2003 (C) i4 CORPORATION 2003 (C) Fanfare Inc. 2003
●AI将棋 for HITACHI、AI囲碁 for HITACHI、AI麻雀 for HITACHI
AI将棋、AI囲碁、AI麻雀は、株式会社アイフォーの登録商標です。
(C) David Fotland 2003 (C) i4 CORPORATION 2003
(C) HIROSHI YAMASHITA 2003 (C) i4 CORPORATION 2003
(C) i4 CORPORATION 2003

●Norton AntiVirus
Symantec、Symantec ロゴ、Norton AntiVirus、LiveUpdate は、Symantec Corporation の登録商標です。
Norton Internet Security は、Symantec Corporation の商標です。

●かんたんラベル王 for HITACHI

●筆ぐるめ Ver.10 for HITACHI

●らくらく家計簿ゆとりちゃん5

●駅すぱあと
駅すぱあとは、株式会社ヴァル研究所の登録商標です。

●時事通信社　家庭の医学　デジタル版II
時事通信社「家庭の医学」デジタル版IIは、時事通信社の商標です。

●世界大百科事典　第2版　ライブラリリンク対応

●タイピングドリーム　アフロ犬
タイピングドリームアフロ犬は、株式会社ホロンの商標です。
アフロ犬は、サンエックス株式会社及び株式会社グリーンキャメルの登録商標です。

●Acrobat Reader

●サイバーサポート
CyberSupport、ConceptBase は、株式会社ジャストシステムの商標または登録商標です。

●ドリームネット

●@nifty でインターネット
＠nifty は、ニフティ株式会社の商標です。

●AOL
AOL は America Online, Inc. の商標になります。

●ASAHI ネットオンラインサインアップソフト

●BIGLOBE でインターネット
BIGLOBE は、日本電気(株)の登録商標です。

●DION オンラインサインアッププログラム
DION は、KDDI 株式会社の登録商標です。

●日本テレコム ODN スターターキット
ODN は、日本テレコム株式会社の商標になります。

●So-net簡単スターター
So-net、ソネット、およびSo-netのロゴは、ソニー株式会社の商標、または登録商標です。
Copyright 2001-2002 Sony Communication Network Corporation.
Engineered by 2001,2002 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.
Collaborated with DDI POCKET, Inc.
●PriusAir View
Copyright(C) 2003 Hitachi ,Ltd.
●Prius Navistation2
Copyright(C) 2000 Hitachi ,Ltd.
●わくわくナビ
Copyright(C) 1998 Hitachi ,Ltd.
●Priusデカ文字ツール
Copyright(C) 2002 Hitachi ,Ltd.
●Prius壁紙
Copyright(C) 2001 Hitachi ,Ltd.
●PriusサウンドREC
Copyright(C) 2001 Hitachi ,Ltd.
●Prius四字熟語
Copyright(C) 2003 Hitachi ,Ltd.
●Prius一文字
Copyright(C) 2003 Hitachi ,Ltd.
●Prius筆算
Copyright(C) 2003 Hitachi ,Ltd.

修理連絡票

パソコン修理の際には、次の準備をお願いいたします。

1 下記「お願い事項」をよく読み、ご理解ください。
2 本連絡票の必要な欄にご記入ください。
3 パソコンまたはパソコン梱包箱に本連絡票をはり付け、お送りください。
4 送り先については、安心コールセンタにお問い合わせください。

<table>
<tr><td>お願い事項</td><td>お願い事項</td><td colspan="3">修理を行うにあたり下記の注意事項がございます。よくお読みいただきご理解のほどお願い申し上げます。
・ 無償保証期間は１年間です。その他、保証書に記載の保証規定をご覧ください。
・ 修理をご依頼の場合は、ご依頼品に必ず本書と保証書を添えてご依頼ください。
・ 本書の内容等について、後日お問い合わせさせていただくことがございます。
・ ハードディスク内のデータおよび設定については保証できかねますので、不測の事態に備え、修理に出す前に必要なデータファイルや設定はバックアップを取ってください。
・ 修理の場合は、増設機器およびケーブル類を外し、引き取り業者が梱包できるところまでパソコンをお運びください。
・ 無償保証期間内であっても、天災やお客様の過失により故障した場合は、修理費用はお客様の負担となります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">お客様情報</td><td>お名前</td><td>（フリガナ）</td><td>修理申込日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td>（ご自宅）</td><td colspan="2">（勤務先/携帯電話）</td></tr>
<tr><td>住所</td><td colspan="3">〒</td></tr>
<tr><td rowspan="4">パソコン情報</td><td>形名</td><td></td><td>製造番号</td><td></td></tr>
<tr><td>購入店</td><td></td><td>購入年月日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td>接続している周辺機器</td><td>（メーカー名/機器名）
（すべての周辺機器）</td><td>ご購入後追加したソフトウェア</td><td>（メーカー名/ソフト名/バージョン）
（すべて）</td></tr>
<tr><td>インターネット接続形態とプロバイダー</td><td>（未接続/モデム/ISDN/ADSL/CATV/ほか）
（プロバイダー名）</td><td>メモリー増設</td><td>（何MB増設/増設せず/不明）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">故障の症状について</td><td>故障の症状</td><td colspan="3">（できるだけ詳細に。エラーメッセージなどが表示される場合はそのエラーメッセージも
ご記入ください）</td></tr>
<tr><td>故障症状の
発生時の条件</td><td>（どんな時に/どんな操作をしたら）</td><td>故障症状の
発生頻度</td><td>（頻度、または、必ず/ときどき）</td></tr>
<tr><td>その他
お気づきの点</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>データについて</td><td>ハードディスクのデータと設定の保持について</td><td colspan="3">下記のいずれかを選んでください。（○印をつけてください。）
① ハードディスク内のデータおよび設定（インターネット/メール設定も含む）は消去してもかまわない。
② ハードディスク内のデータおよび設定はできれば消去しないで欲しいが、修理時に必要であれば消去してもやむを得ない。
やむを得ず消去する際の連絡は、□必要、□不要（どちらかに✓印を付けてください）
③ ハードディスク内のデータおよび設定は絶対に消去しないで欲しい。修理時に消去必要であれば、修理をキャンセルする。</td></tr>
<tr><td>ご注意事項</td><td>ご注意事項</td><td colspan="3">修理を行うにあたり下記の注意事項がございます。よくお読みいただきご理解のほどお願い申し上げます。
・ 無償保証期間は１年間です。その他、保証書に記載の保証規定をご覧ください。
・ 修理をご依頼の場合は、ご依頼品に必ず本書と保証書を添えてご依頼ください。
・ 本書の内容等について、後日お問い合わせさせていただくことがございます。
・ ハードディスク内のデータおよび設定については保証できかねますので、不測の事態に備え、修理に出す前に必要なデータファイルや設定はバックアップを取ってください。
・ 修理の場合は、増設機器およびケーブル類を外し、引き取り業者が梱包できるところまでパソコンをお運びください。
・ 無償保証期間内であっても、天災やお客様の過失により故障した場合は、修理費用はお客様の負担となります。</td></tr>
</table>

修理連絡票

パソコン修理の際には、次の準備をお願いいたします。

1 下記「お願い事項」をよく読み、ご理解ください。
2 本連絡票の必要な欄にご記入ください。
3 パソコンまたはパソコン梱包箱に本連絡票をはり付け、お送りください。
4 送り先については、安心コールセンタにお問い合わせください。

お願い事項	お願い事項	**修理を行うにあたり下記の注意事項がございます。よくお読みいただきご理解のほどお願い申し上げます。** ・無償保証期間は1年間です。その他、保証書に記載の保証規定をご覧ください。 ・修理をご依頼の場合は、ご依頼品に必ず本書と保証書を添えてご依頼ください。 ・本書の内容等について、後日お問い合わせさせていただくことがございます。 ・ハードディスク内のデータおよび設定については保証できかねますので、不測の事態に備え、修理に出す前に必要なデータファイルや設定はバックアップを取ってください。 ・修理の場合は、増設機器およびケーブル類を外し、引き取り業者が梱包できるところまでパソコンをお運びください。 ・無償保証期間内であっても、天災やお客様の過失により故障した場合は、修理費用はお客様の負担となります。		
お客様情報	お名前	(フリガナ)	修理申込日	年　月　日
	電話番号	(ご自宅)	(勤務先/携帯電話)	
	住所	〒		
パソコン情報	形名		製造番号	
	購入店		購入年月日	年　月　日
	接続している周辺機器	(メーカー名/機器名) (すべての周辺機器)	ご購入後追加したソフトウェア	(メーカー名/ソフト名/バージョン) (すべて)
	インターネット接続形態とプロバイダー	(未接続/モデム/ISDN/ADSL/CATV/ほか) (プロバイダー名)	メモリー増設	(何MB増設/増設せず/不明)

<table>
<tr><td rowspan="3">故障の症状について</td><td>故障の症状</td><td colspan="3">（できるだけ詳細に。エラーメッセージなどが表示される場合はそのエラーメッセージもご記入ください）</td></tr>
<tr><td>故障症状の
発生時の条件</td><td>（どんな時に/どんな操作をしたら）</td><td>故障症状の
発生頻度</td><td>（頻度、または、必ず/ときどき）</td></tr>
<tr><td>その他
お気づきの点</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>データについて</td><td>ハードディスクのデータと設定の保持について</td><td colspan="3">下記のいずれかを選んでください。（○印をつけてください。）
① ハードディスク内のデータおよび設定（インターネット/メール設定も含む）は消去してもかまわない。
② ハードディスク内のデータおよび設定はできれば消去しないで欲しいが、修理時に必要であれば消去してもやむを得ない。
やむを得ず消去する際の連絡は、□必要、□不要（どちらかに✓印を付けてください）
③ ハードディスク内のデータおよび設定は絶対に消去しないで欲しい。修理時に消去必要であれば、修理をキャンセルする。</td></tr>
<tr><td>ご注意事項</td><td>ご注意事項</td><td colspan="3">修理を行うにあたり下記の注意事項がございます。よくお読みいただきご理解のほどお願い申し上げます。
・ 無償保証期間は１年間です。その他、保証書に記載の保証規定をご覧ください。
・ 修理をご依頼の場合は、ご依頼品に必ず本書と保証書を添えてご依頼ください。
・ 本書の内容等について、後日お問い合わせさせていただくことがございます。
・ ハードディスク内のデータおよび設定については保証できかねますので、不測の事態に備え、修理に出す前に必要なデータファイルや設定はバックアップを取ってください。
・ 修理の場合は、増設機器およびケーブル類を外し、引き取り業者が梱包できるところまでパソコンをお運びください。
・ 無償保証期間内であっても、天災やお客様の過失により故障した場合は、修理費用はお客様の負担となります。</td></tr>
</table>

重要なお知らせ

1. 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、禁止されています。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容について、万一ご不審な点や誤りなどお気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響については3項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

困った時のQ&A

初　版　2003年4月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社 日立製作所
インターネットプラットフォーム事業部

〒243-0435　神奈川県海老名市下今泉810番地

お問い合わせ先:安心コールセンタ　0120-8855-96

PROF750P0-1

HITACHI
Inspire the Next

Prius
Fモデル

Prius Fモデル

困った時のQ&A

PROF750P0-1

PROF750P0-1